

[illegible]

3

防水改修工事

1

施工数量調査

8

塗膜防水

9

シーリング

10

とい

11

アルミニウム製並木

12

防水工事施工票

4

外壁改修工事

5

建具改修工事

20

ガラスブロック

21

ガラス用フィルム

6

内装改修工事

7

造作用集成材

8

合板等

9

接合具等

10

接着剤

11

防蟻・防蟻処理

12

内部間仕切軸組及び床組み

13

窓、出入口その他

14

軽量鉄骨天井下地

15

軽量鉄骨壁下地

16

ビニル床シート

17

ビニル床タイル

18

特殊機能床材

19

ビニル幅木

20

ゴム床タイル

21

カーベット敷き

22

合成樹脂塗床

23

フローリング張り

24

畳敷き

25

せっこうボード
その他のボード張り

26

壁紙張り

27

モルタル塗り

28

タイル張り

29

セルフレベリング材塗り

30

フリーアクセスフロア

31

可動間仕切

32

移動間仕切

33

トイレブース

34

手すり

35

階段滑り止め

36

黒板及びホワイトボード

37

表示

38

トラップ

39

フラインド

40

ロールスクリーン

41

カーテン

42

カーテンレール

43

ブラインドボックス
及びカーテンボックス

44

天井点検口

45

床点検口

46

くつふきマット

47

流し台ユニット

48

鋼製書架及び物品棚

49

屋内掲示板

50

洗面カウンター

51

防煙垂れ壁

52

収納家具

53

その他

54

その他

55

その他

56

その他

57

その他

58

その他

59

その他

60

その他

61

その他

62

その他

63

その他

64

その他

65

その他

66

その他

67

その他

68

その他

69

その他

70

その他

71

その他

72

その他

73

その他

74

その他

75

その他

76

その他

77

その他

78

その他

79

その他

80

その他

81

その他

82

その他

83

その他

84

その他

85

その他

86

その他

87

その他

88

その他

89

その他

90

その他

91

その他

92

その他

93

その他

94

その他

95

その他

96

その他

97

その他

98

その他

99

その他

100

その他

春日部市
学校教育課
教育施設課

豊小学校外7校避難所空調設備設置工事（備後小学校）
特記仕様書 3

共通-03

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称

建築工事特記仕様書による

2 工事場所

建築工事特記仕様書による

3 工期

建築工事特記仕様書による

現場施工期間

建築工事特記仕様書による

4 建物概要

建築工事特記仕様書による

5 工事種目

●印を付いたものを適用する。)

工 事 種 目	
● 空 気 調 和 設 備	一 式
● 換 気 設 備	一 式
○ 排 煙 設 備	
○ 自 動 制 御 設 備	
○ 衛 生 器 具 設 備	
○ 給 水 設 備	
○ 排 水 設 備	
○ 給 湯 設 備	
○ 消 火 設 備	
○ 暖 房 機 器 設 備	
○ ガ ス 設 備	

6 指定部分

※無・有

対象部分：

工期：令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間

(建設業法により必要になった場合)

建築工事特記仕様書による

8 工事範囲

図示のとおり

9 機械設備工事概要

建築工事特記仕様書による

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は春日部市電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は春日部市建築工事特別共通仕様書による。

11 同時期発注の関連工事

※なし (ただし、工事対象エリアで施設管理委託受注者が作業を行う)

II 工事仕様

1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準仕様書等」という。))及び監督員の指示に従い施工する。

なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時ににおいて最新のものを適用する。

2 特記仕様

(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

① 機 材 等

本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、JISが含有の有無を確認し、JISを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

建築工事特記仕様書による

② 電気保安技術者

③ 施工条件

施工時間

建築工事特記仕様書による

④ 技能士の適用

・配管施工(配管工事) ・建築板金施工(風道制作及び取付け)

・熱絶縁施工(保温工事) ・冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付け)

⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験

検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書による。

⑥ 監督員事務所

建築工事特記仕様書による

⑦ 官公署その他への届出手続等

工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し滞滞なく行う。

⑧ 工事用電力・水等

建築工事特記仕様書による

⑨ 工事用仮設物

すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない

⑩ 足場・さんばし類

建築工事特記仕様書による ・本工事とする。

⑪ 建設発生土の処理

埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。

・構外搬出適切処理する。

⑫ 埋め戻し土・盛土

※根切土の中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類

⑬ 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用

契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。

再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

⑭ 発生材の処理等

※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。

(構外搬出処理費は ※本工事 ・別途)

(1) 引渡しを要するもの()

(2) 買取処分を要するもの()

(3) 再生資源化を図るもの(・硬質塩化ビニル管)

(4) 特別管理産業廃棄物()

※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑮ 容量等の表示

(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

⑯ 配 管

(1) 地中埋設配管(排水管を除く)

1) 地中埋設機(コンクリート製) ※要(図示の箇所) ・不要

2) 地中埋設板(キャッツアイ) ※要(舗装部の分岐、曲部) ・不要

3) 埋設表示テープ(2倍折込み) ※要 ・不要

⑰ 耐震施工

設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。

ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平震度K_H及び設計用鉛直震度K_V(K_H×2)を用いて計算する。

設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>

(注)()内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。

>内の数値は水槽類に適用する。

※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階)

中間階とは地下階:1階を除く各階で上層階に該当しないもの(平屋建の場合は無し)

重要機器は次のものを示す。

給水装置	排水装置	換気機器	空調機器	熱源機器
防災設備	監視制御設備	危険物貯蔵装置		
火を使用する設備	避難経路上に設置する機器			

⑱ あと施工アンカー

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。

重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。

施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。

金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。

接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。

(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)

あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

⑲ 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
ド レ ン 管	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅷ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅷ
	天井内、PS内及び空腔壁中	c2・(ロ)・Ⅷ
	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅷ

(注)1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。

屋内露出部 ※保温化被覆銅管(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)

屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング

・保温化被覆銅管(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)

2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧紙を使用する。

3. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。

19 防 凍 保 温

20 塗 装

下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。

※機械室、書庫、倉庫 ・

下記の金属電線管は塗装を行う。

※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出(※見えかきり部 ・)

21 電 線

表示なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。

電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

22 はつり及びあと施工アンカー打設

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示した箇所についてX線撮影調査を実施すること。

23 管の埋設深さ

(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。

(2) 構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。

(3) その他の場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで300mmとする。

24 既設管分岐・接続

既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。

やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。

25 絶縁継手の設置・種別

※コンクリートの建築物に出入りする箇所付近の露出部配管

※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分

※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ

26 天井仕上げ区分

仕上表による

27 他工事との取合区分

28 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。

29 保 険

建築工事特記仕様書による

30 配管識別

配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。

31 塗料等

※使用を要する 塗料等使用器具の安全な使用に関するガイドライン

(平成30年6月22日付け基発0622第2号)による

・使用を要しない

32 施工計画書

※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける。

※総合施工計画書(工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む)

※工種別施工計画書

○共通工事 ○空気調和設備工事 ・自動制御設備工事 ・給排水衛生設備工事

・ガス設備工事 ・さく井設備工事 ・浄化槽設備工事 ・昇降機設備工事

・機械式駐車設備工事 ・医療ガス設備工事

※その他監督員が必要と認めるもの

33 誘導電動機

三相誘導電動機はJIS C 4213(IE3)トッランナーモーターとする。

34 そ の 他

完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。

また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。

工事用図面

建築工事特記仕様書による

① 共通事項

改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。

② 改修部分の足場

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。

(1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・特組足場 ・

(2) 外部足場 建築工事特記仕様書による

③ 既存部分養生・既存家具等養生

(1) 関係受注者と共用部分

※別契約の関係受注者が定着したものは無償で使用できる。

・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)

(2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。

※ビニールシート ・合板 ・

④ 備品等の移動

・別途工事 ○本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事

5 仮設間仕切り

建築工事特記仕様書による

6 撤去後機材の扱い

(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。

(2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。

それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。

7 支持金物の再使用

(1) インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品

(2) 鋼管支持金物等 ・再使用できる ※新品

8 フロン回収

9 総 合 調 整

・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整

10 既設基礎類の解体はつり

建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。

現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。

粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。

11 アスベスト事前調査結果の報告

全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。

12 そ の 他

(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版、A3版とした縮尺とする。

(2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。

(3) 特に騒音振動など周辺に基大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について

F F式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。

2023.9

	設 計 年 月 日		春 日 部 市 学 校 教 育 部 教 育 施 設 課		縮 尺	工 事 名 称	図 面 名	図面番号
					—	豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事(備後小学校)	機械設備工事 特記仕様書-1	共通-07

●空調設備

①設計温湿度

②総合試運転調整

3煙道
|
10ダンパー

⑪配管材料

12井類
|
17冷却塔

⑬空気熱源ヒートポンプ空調機

		屋 内					
		一 般 系 統					
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%	℃
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%	℃

※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。

※本工事 ・別途

風量調整
水量調整
騒音の測定
室内外空気の温湿度の測定
室内気流及びじんあいの測定
初期運転状態の記録
工事対象範囲の既設機器運転状態の記録

※する
※しない
○する
※しない
※する
※しない
※する
※しない

4煙突
8チャンパー

5長方形ダクト
9吹出口及び吸込口ボックス

6円形ダクト
7風量測定口

(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・
(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・
(3) ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・
(4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管
(保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上)
ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。
(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管 V P
ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (EONACドレンパイP 相当品)
・耐火二層管 V P (F D P S - 1)
・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P
(消防協議事項：
ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。
(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・
(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・
還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管
(8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管
※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・

13温 度 計 14 圧 力 計 15 瞬間流量計 16 油面制御装置

●換気設備

1長方形ダクト

2円形ダクト

3風量測定口

4チャンパー

5ダンパー

6多湿箇所の排気ダクト

7保 温

8試運転調整

●自動制御

①中央監視制御装置

②構成・機能

③電気計装用機材

Ⓐ計装制御

○排水設備

1配管材料

2洗面器等の排水管

3満水試験継手

4樹の適用

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

建築工事特記仕様書による

※低圧ダクト (垂鉛鉄板製)
長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法
※アングルフランジ工法
それ以外の部分
・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製)
・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)

※スパイラルダクト (※垂鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U)
・耐火二層換気管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無)
(注) 1 使用区分は図示による。

取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト

(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。
(2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。
・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750
(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下
(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)

(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U)
(防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火 V P) を使用できる。
※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・
(2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける

下記のダクトの保温を行う。
※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト
仕様はN・ (ロ) ・ X I とする。
保温施工範囲は、給気用 O A ダクトは全て、また、排気用 E A ダクトは外壁より1mの部分とする。
※ (※厨房 ・ 湯沸室 ・) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh・ (イ) ・ IX とし範囲は図示による)

風量調整 ※する ・しない
風量測定 ※する ・しない
騒音の測定 ・する ※しない

・有り ※無し

図示による

使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。
屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

カードタイマーにより発停を制御する。
仕様は別紙のとおり
カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。

施 工 箇 所		管 種 別
雑排水配管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクル V P ・ V P
	厨房等の温排水	※SGP (白) ・
	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管 V P (FDPS-1)又は耐火 V P ・ SGP (白)
	その他の部分	※RF-V P又はリサイクル V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
汚水配管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクル V P ・ V P
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管 V P (FDPS-1)又は耐火 V P ・排水用 / ナイロ ン 鋼 管
その他の部分	※RF-V P又はリサイクル V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	
	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクル V U ・ V U ・胴形管 (ゴム輪接合) ※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクル V P ・ V P
通気配管	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管 V P (FDPS-1)又は耐火 V P ・ SGP (白)
	その他の部分	※リサイクル V P又はRF-V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

(注) 1. リサイクル V P、リサイクル V UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。
2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。
3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部は Y 4 5 度で行う。

3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。
※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット

別紙樹表による。

参考工程表

月 日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
工 事 項 目	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	101 201 301	
学校運営	※学校運営												
契約	※契約												
書類作成	※書類作成												
準備工事	※準備工事												
共通仮設工事	※共通仮設工事												
空調設備工事	※空調設備工事												
空調設備工事に伴う電気設備工事	※空調設備工事に伴う電気設備工事												
空調設備工事に伴う建築工事	※空調設備工事に伴う建築工事												
アリーナLED化工事	※アリーナLED化工事												
建築改修工事	※建築改修工事												
受電設備工事	※受電設備工事												
検査	※検査												

この工程表は参考であり、契約を拘束するものではない。学校関係者と協議の上、学校の意向を汲み、工程を決定すること。
この工事は学校、放課後クラブを運営しながらの工事である。工程は両運営に配慮した計画とすること。
設備発注は早期に実施し、工程の遅れが生じないようにすること。

設 計 年 月 日

春 日 部 市
学 校 教 育 部
教 育 施 設 課

縮 尺

工 事 名 称

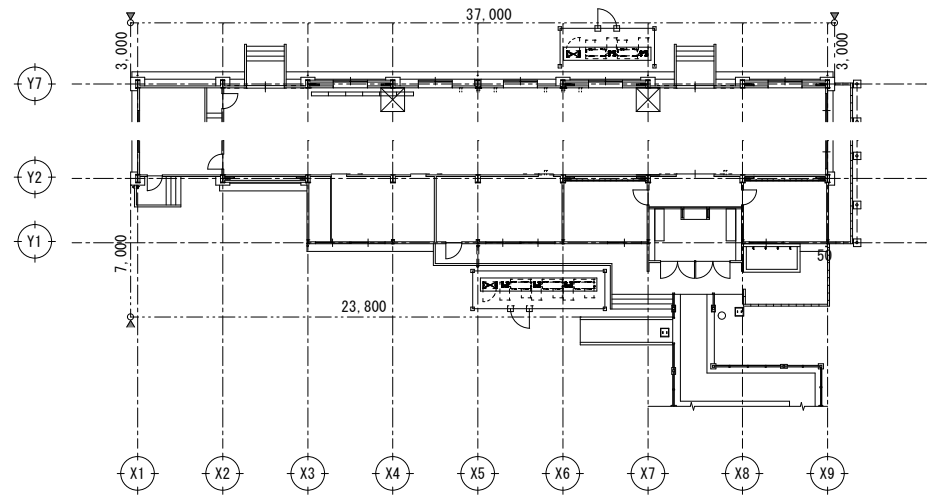
豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事 (備後小学校)

図 面 名

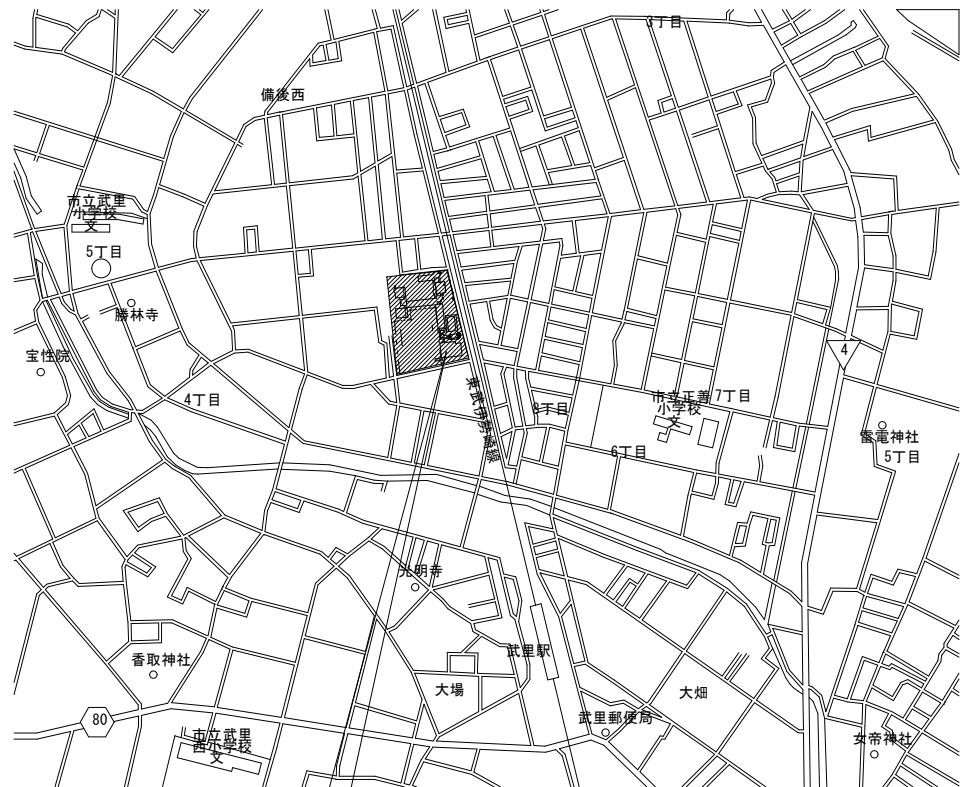
機械設備工事 特記仕様書-2

図面番号

共通-08



体育館廻り仮設計画図 S=1/200

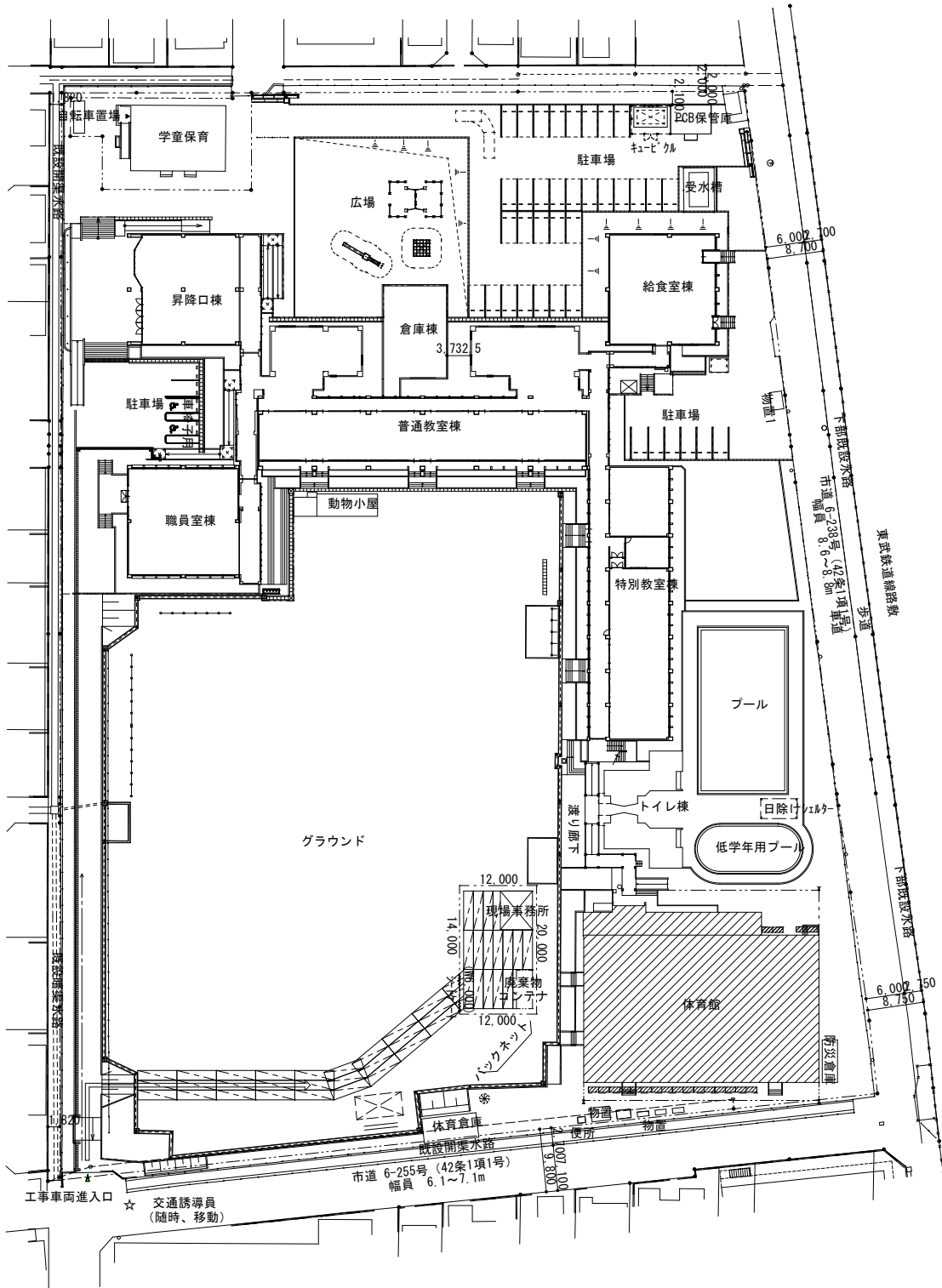


工事場所:埼玉県春日部市備後西三丁目2番1号
春日部市立備後小学校

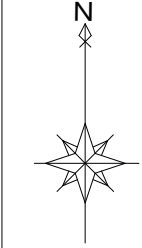
案内図

凡 例	
	: 工事建物を表す。
	: 工事用車両進入路
	: 学校関係者動線の確保
	: フラ敷板 (1,500 x 6,000)
	: 仮囲い (鋼製、H=2,000)
	: シートゲート (w6,000 x h4,500)
	: 枠組足場 (900 x 1,800)
	: コーナークッション
	: 交通誘導員

※仮設計画については、監督員・学校関係者と協議の上、適切に設置する事。
図面に記入がなく、やむ負えず必要となる工事は、監督員と協議の上、施工を行う事。
工事車輛進入路の鉄板敷きは、工事完了後に現状に復旧させる事。
足場については、労働安全衛生法を厳守すること。

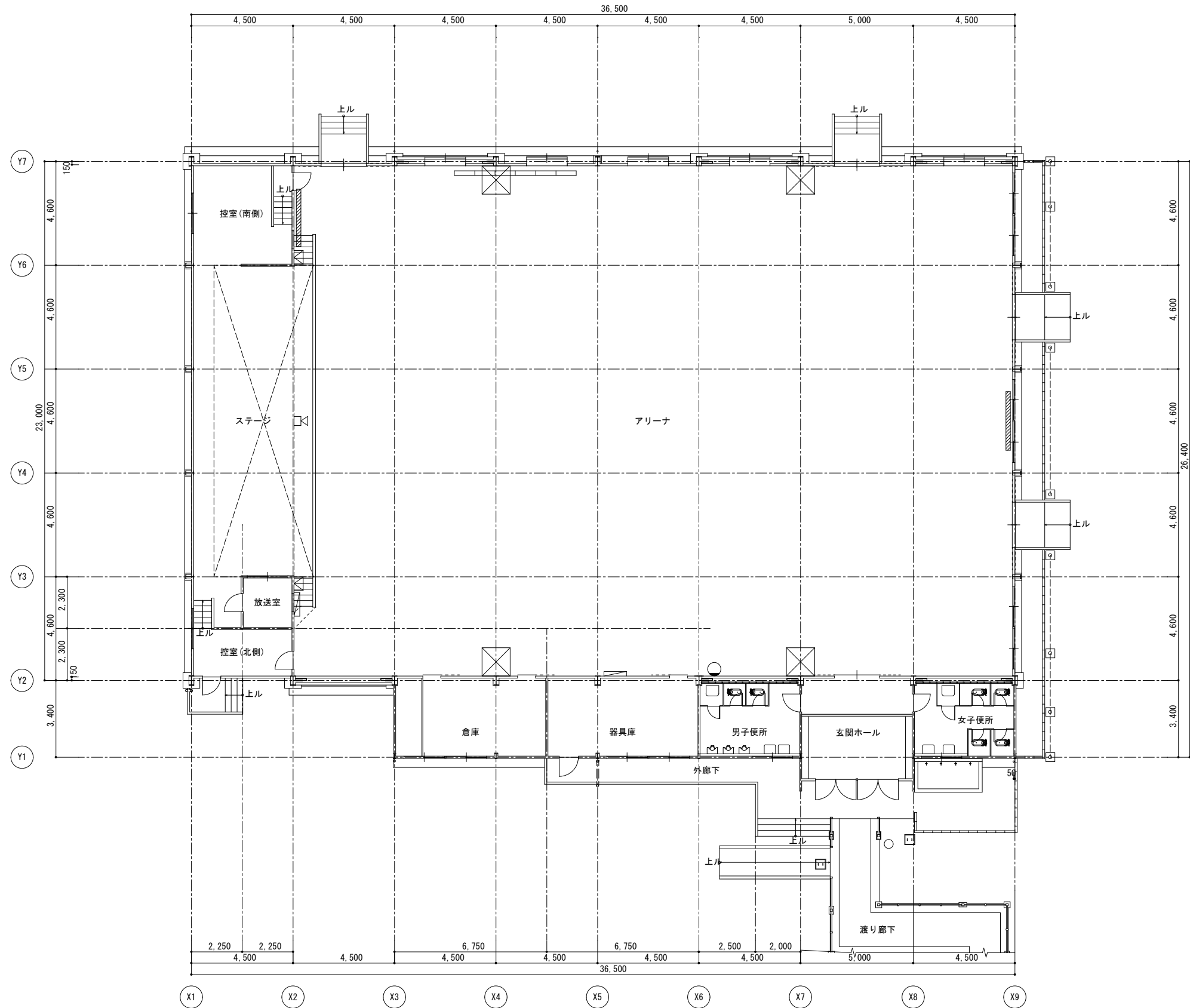
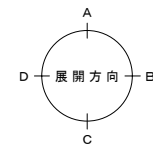


配置図・仮設計画図(参考) S=1/500

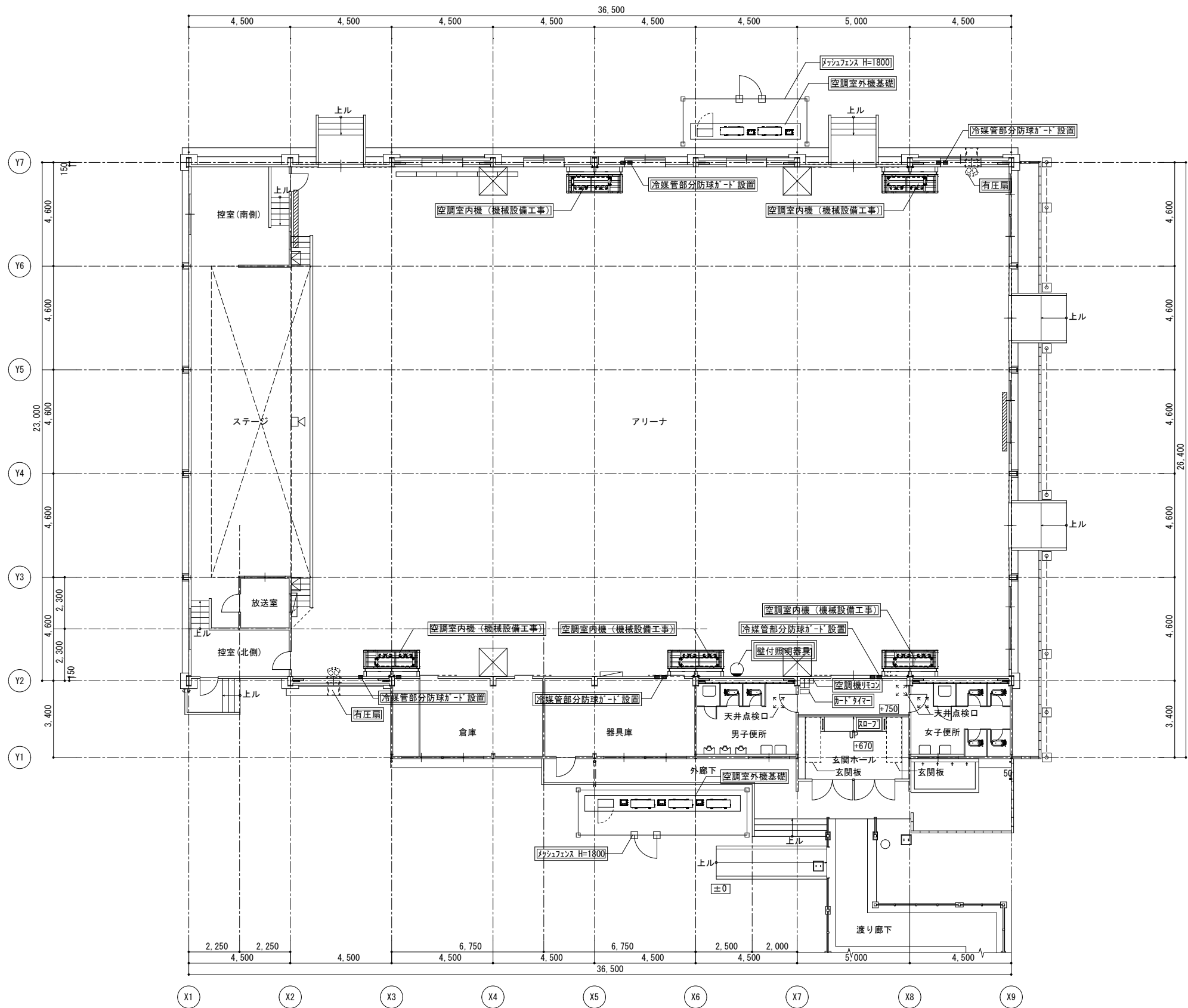
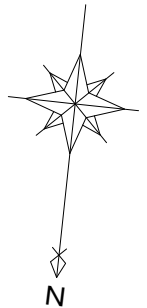
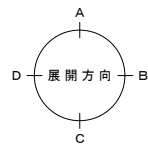


外 部 仕 上 表		
部位		仕 上
屋根	大屋根	木毛セメント板下地 t=20.0 耐候性アルミ鋼板 t=0.6 長尺カー鉄板瓦棒葺 高反射トップコート仕上げ
	小屋根	木毛セメント板下地 t=20.0 長尺カー鉄板瓦棒葺 ウレタン塗膜防水DSX-2L工法 高反射トップコート仕上げ
外壁	一般部	金属サイディング t=18 縦張り アクリルシリコン系高日射反射率塗料 透湿防水シート t=0.15 【吹付材アスベスト含有 率3】[一部撤去・新設]
	柱型	ガルバリウム鋼板 t=0.35 アクリルシリコン系高日射反射率塗料 透湿防水シート t=0.15
	袖壁	ラスシート下地 ラスモルタル t=40.0 刷毛引き アクリルシリコン高日射反射率塗料
	軒裏	フレキシブルボード t=4.0 外装薄塗材E仕上
巾木	一般部	モルタル金ゴテ ケイ酸質系平滑仕上げ塗材
	堅樋	塩ビ製 φ100
建具	アルミサッシ	強化ガラス t=4.0、飛散防止フィルム（遮熱、UVカット性能付[新設] 一部ガラス[撤去]、ガラス撤去部分アルミサッシ[新設]
	アルミガラスリ	

内 部 仕 上 表											
階別	室 名	床	巾 木	腰 壁		壁	天 井			備 考	
		仕 上	仕 上	H	仕 上	H	仕 上	廻り縁	天井高		
1 階	ア リ ー ナ	ブナ フローリング 張り t=15.0 UC塗り	ラワン OS塗り	100			ラワン合板張 t=5.5 OS(サッシ下端から上) ラワン合板張 t=12.0 OS(FLからサッシ下端まで) 新設空調設置：ラワン合板張 t=12.0 OS	木毛板アクリルシン吹付		7,500～10,390	ロケウ、振れ止め40φ、スチールパイプ、カーテンボックス、カーテンレール
	ス テ ー ジ	イタヤエチフローリング t=18 ウレタン塗装	ラワン OS塗り	100				鉄骨現し 木毛セメント板現し			
	玄 関 ホ ー ル	タイルカーペット貼り					LGS下地 グラスボード t=12.5	鉄骨下地 化粧PB t=9.5 [一部撤去・新設]			
	便 所	24角モザイクタイル貼り			100角半磁器色タイル貼り	1,200	LGS下地 グラスボード t=12.5捨て貼り 化粧ケイ酸板 t=6.0	LGS下地 化粧PB t=9.5 [一部撤去・新設]		2,500	パネーション：耐水ペニキフラッシュ t=40 OS塗り パネーション：メラミン系フェノール樹脂板 t=16
	倉 庫	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ VP塗り	100			鉄骨下地 モルタル金ゴテ VP塗り	鉄骨下地 木毛セメント板 t=20.0 白セメント吹付 [一部撤去・新設]		2,700	消火栓ボックス 架台
	器 具 庫	Pタイル貼り 【アスベスト含有 率3】	モルタル金ゴテ VP塗り	100			モルタル塗り刷毛引下地【アスベスト含有 率3】 グラスボード吹付	鉄骨下地 吸音板張り t=12.0 [一部撤去・新設]		2,590	
	控 室 (北 側)	Pタイル貼り	モルタル金ゴテ VP塗り	100			ラワン合板張り EP塗り	鉄骨下地 合板 EP塗り		3,750～4,850	アルミ製カーテンレール
	控 室 (南 側)	ブナ フローリング 張り t=15.0 UC塗り	ラワン OS	100			ラワン合板張り EP塗り	鉄骨下地 合板 EP塗り		3,750～4,850	アルミ製カーテンレール
	放 送 室	ブナ フローリング 張り t=15.0 UC塗り	ラワン OS	100			鉄骨下地 ラワン合板目透し張り	木下地 吸音板張り		2,500	



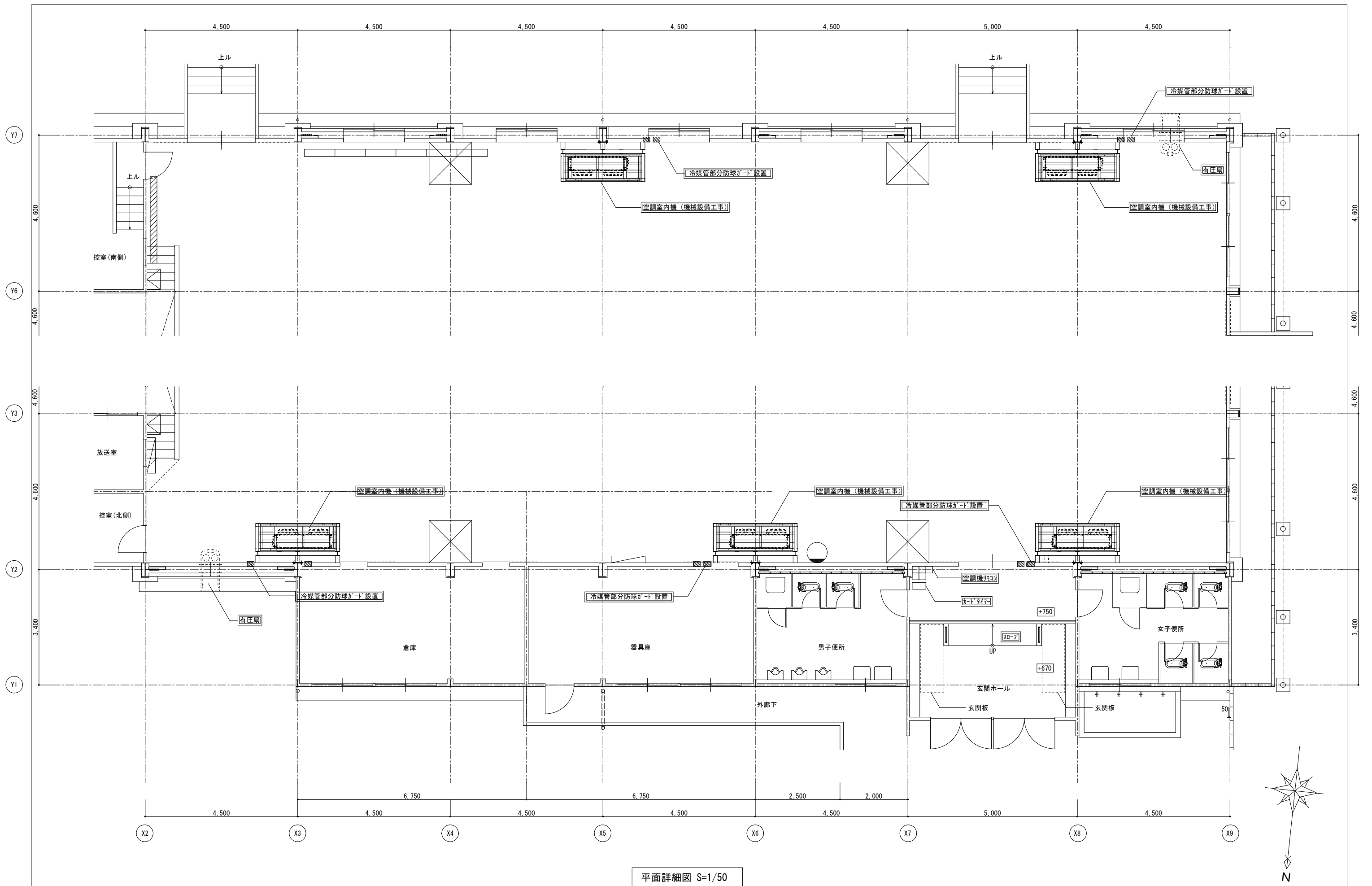
平面図(改修前)S=1/100



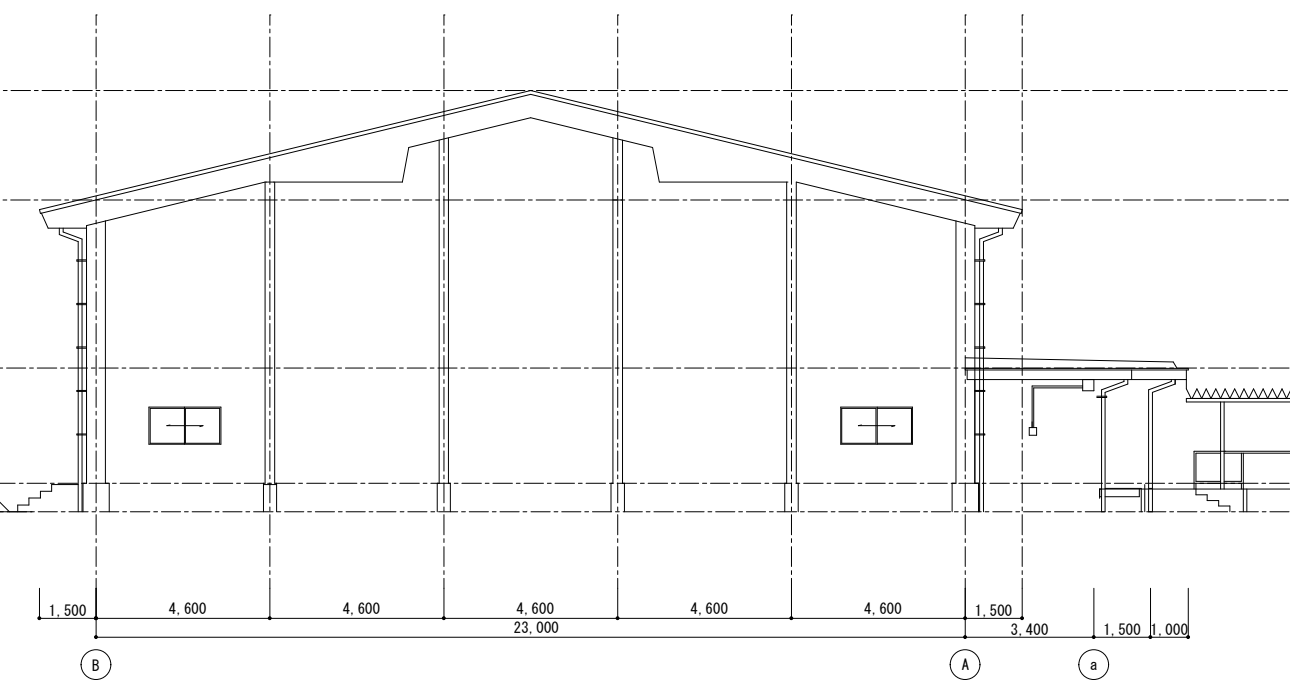
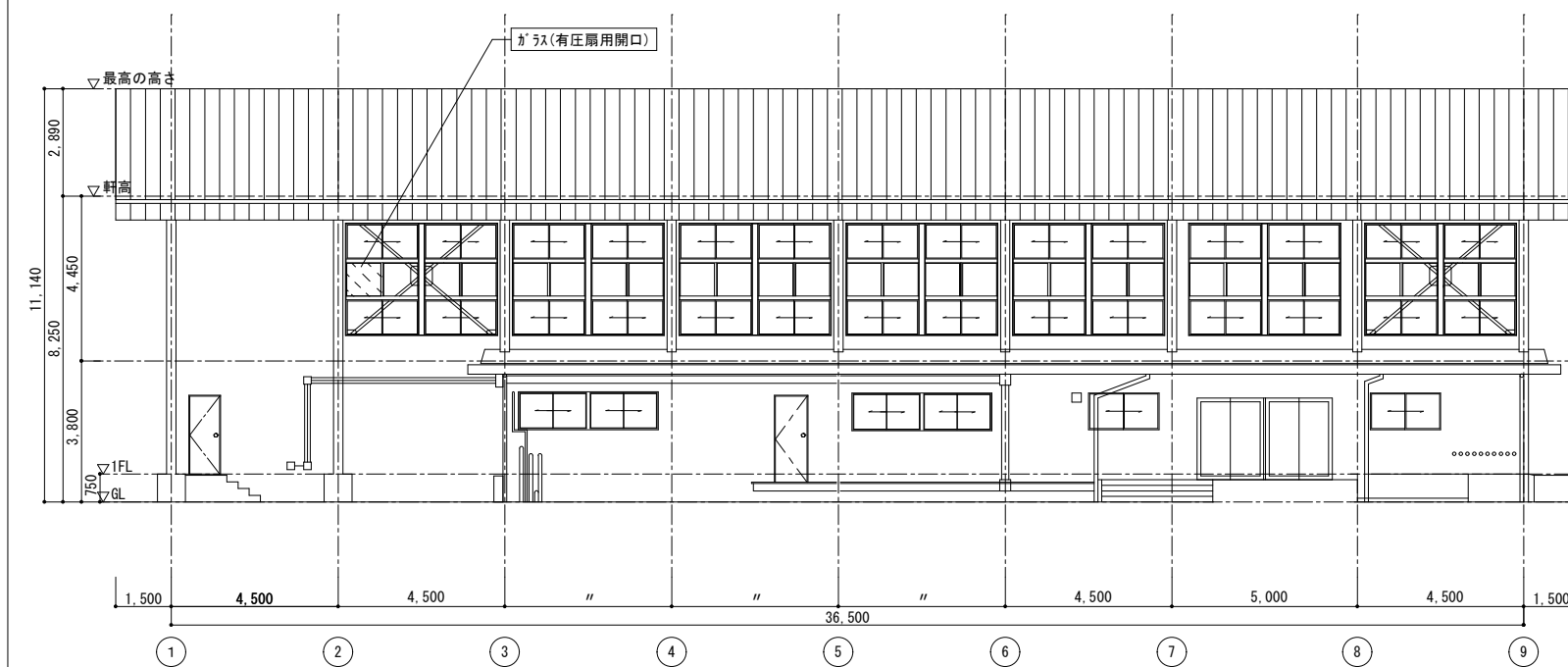
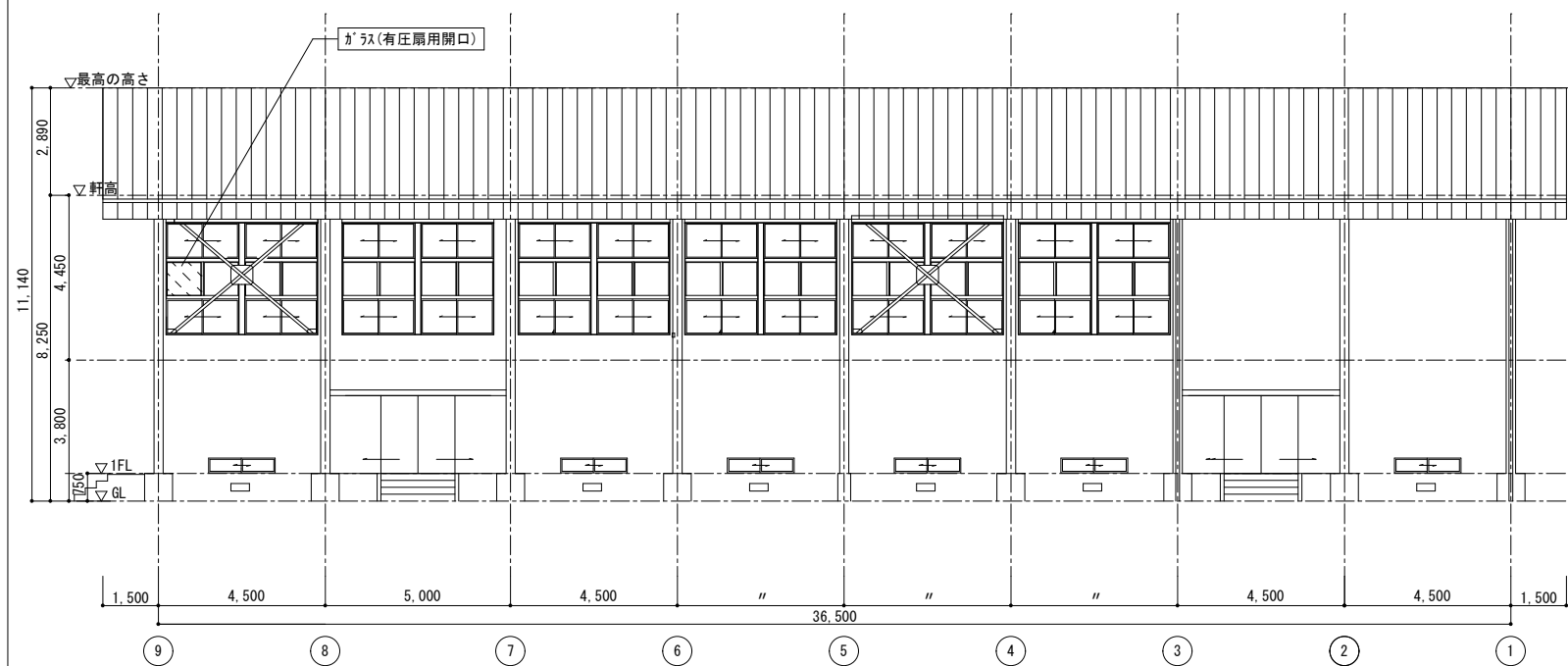
平面図(改修後) S=1/100

枠なし	既存のまま
	既存撤去項目
	新規設置項目
	移設

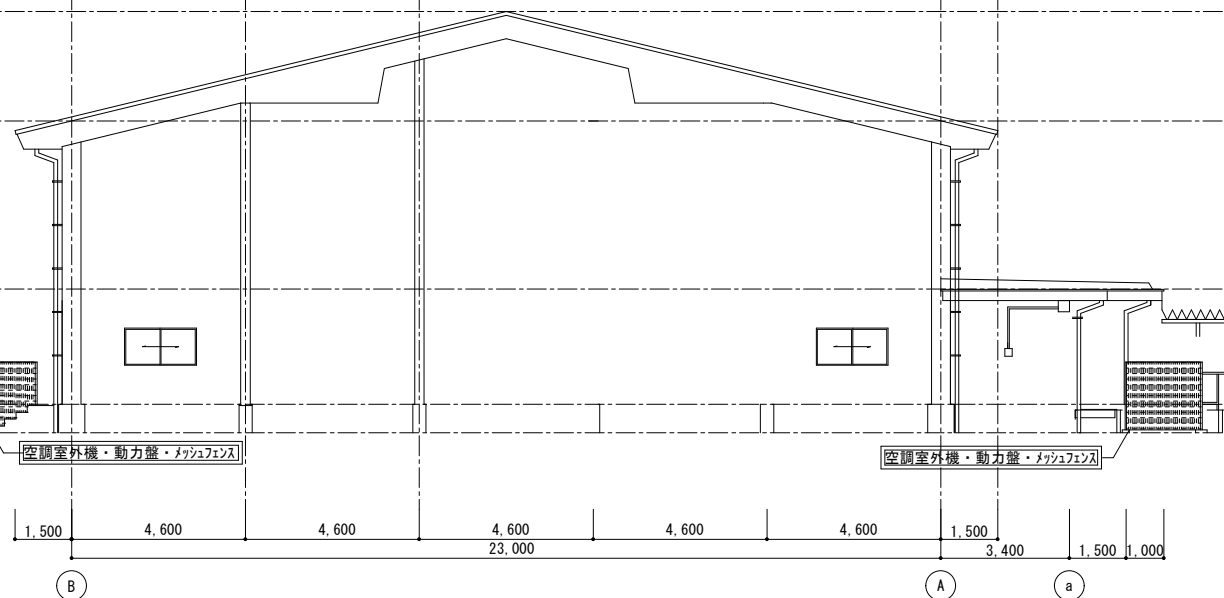
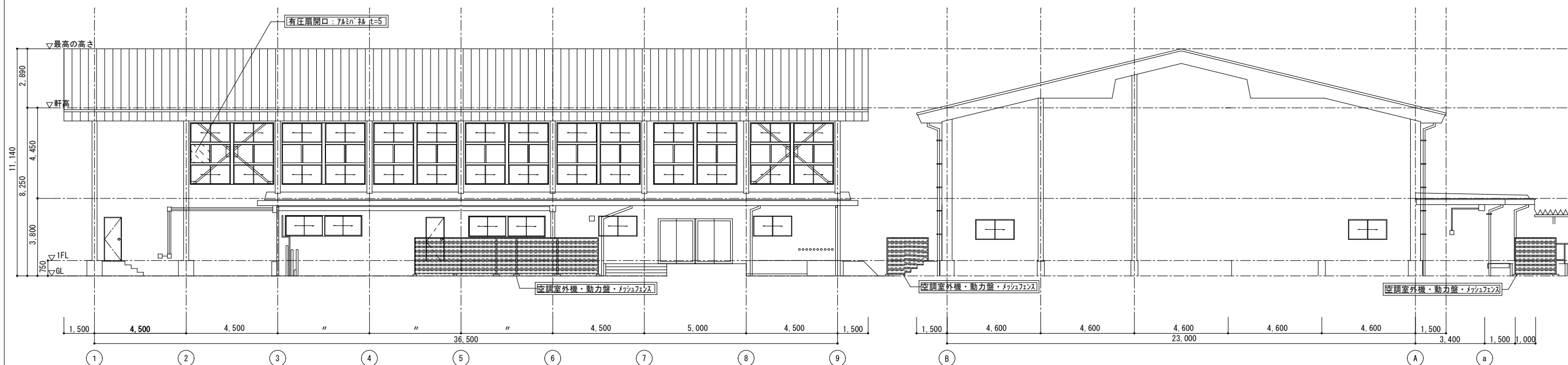
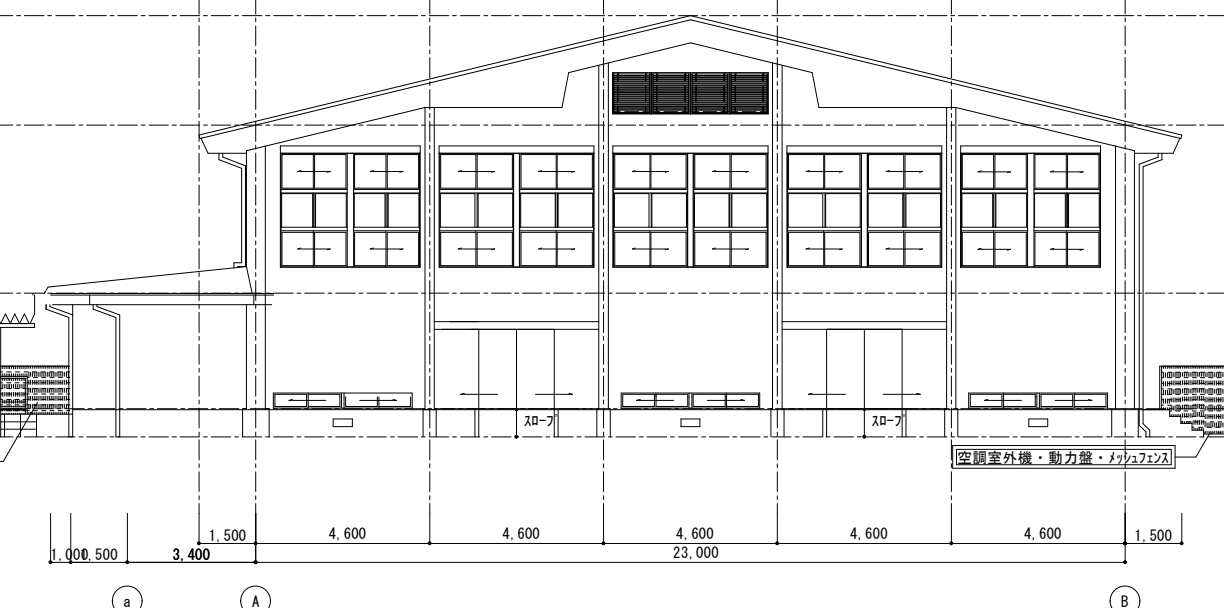
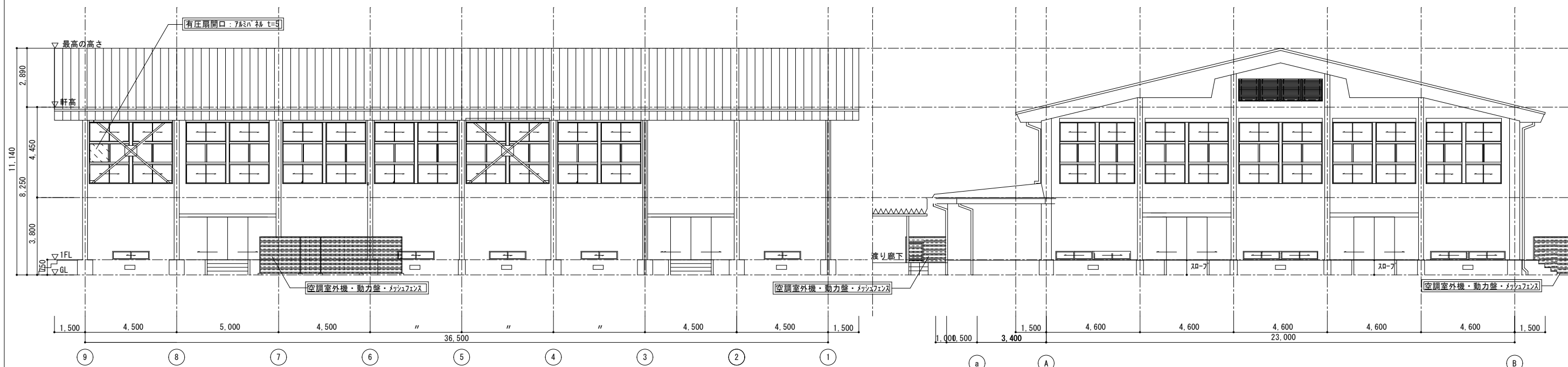
備考
・架台等がバスケットラインにかかる場合、ライン引き直しの上ウレタン塗装。



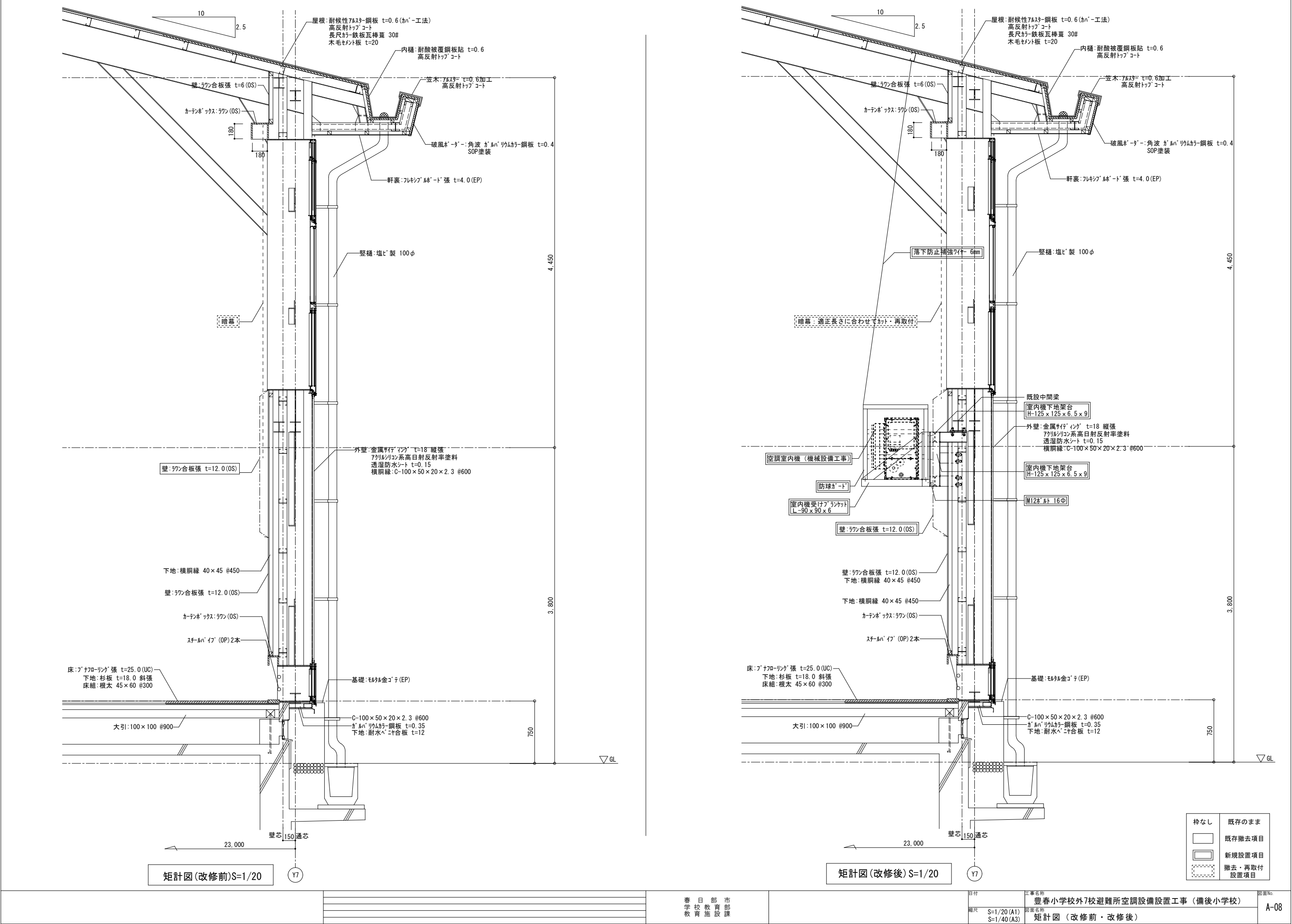
平面詳細図 S=1/50

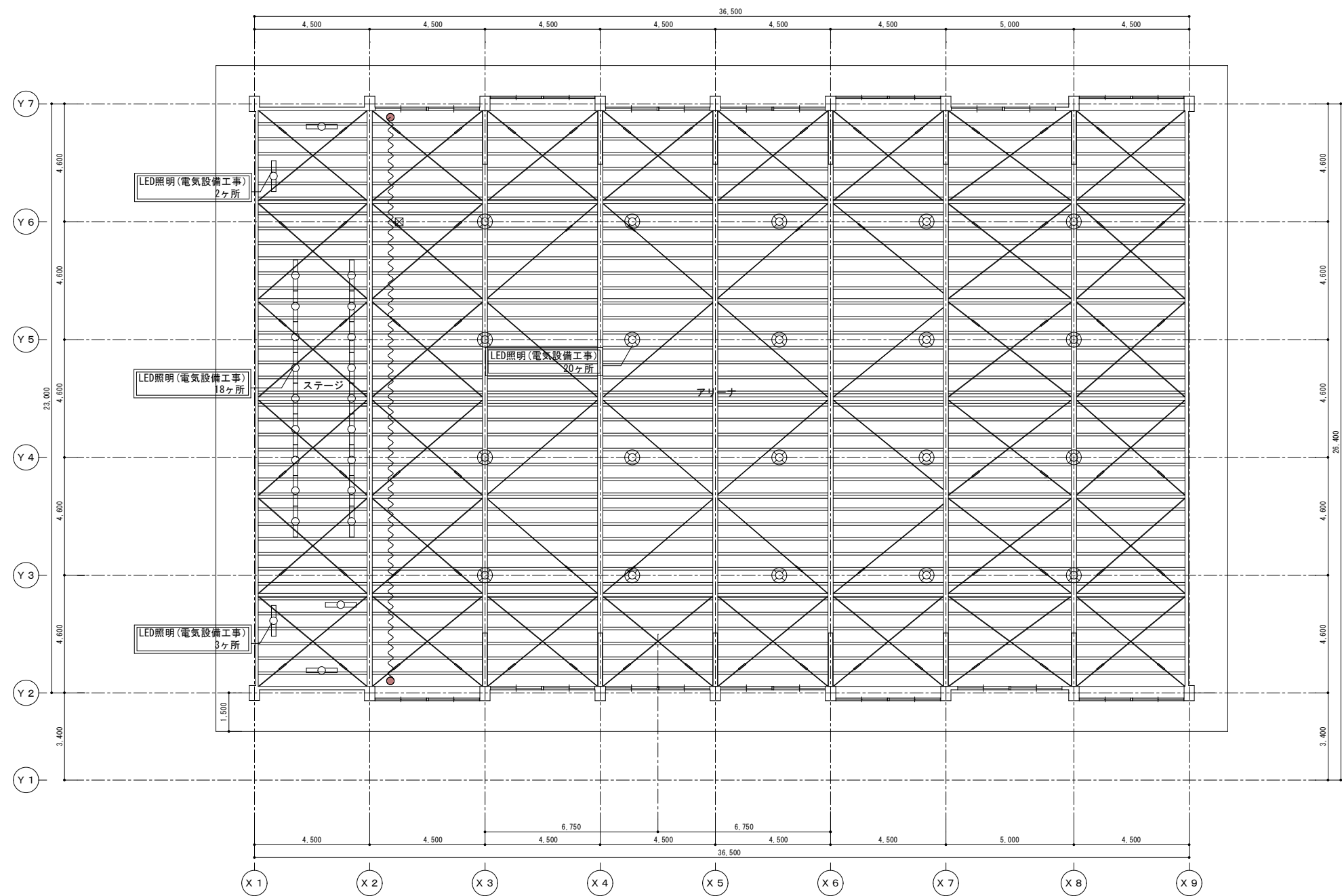


枠なし	既存のまま	
	既存撤去項目	
	新規設置項目	
	移設	 撤去新設範囲を示す

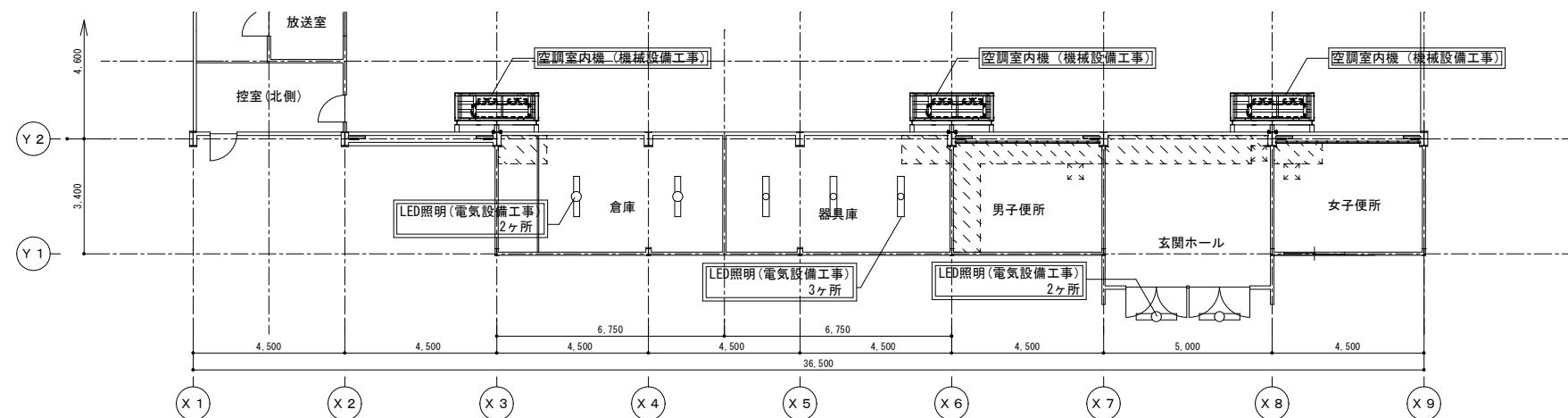


枠なし	既存のまま
	既存撤去項目
	新規設置項目
	移設



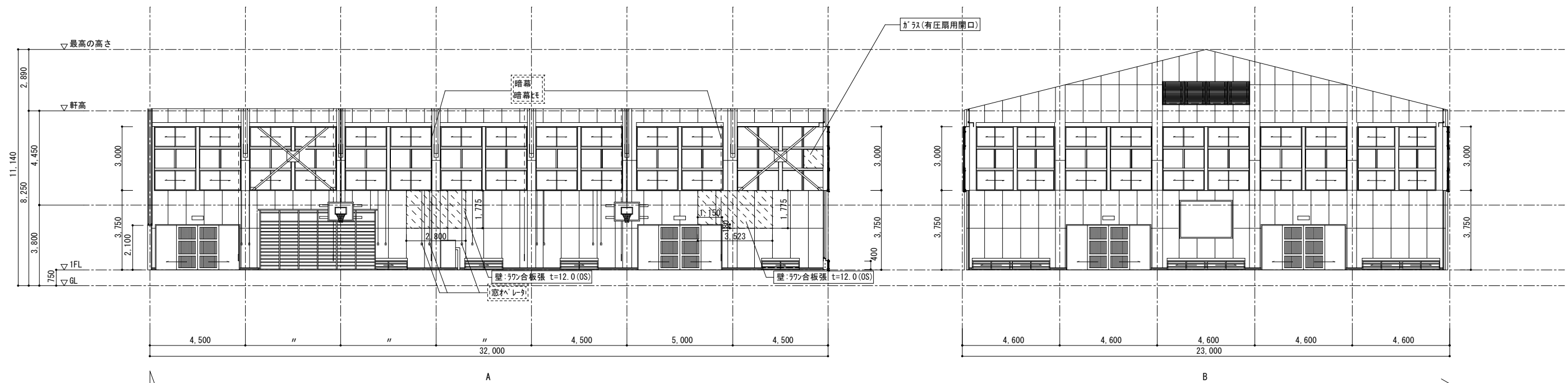


天井伏図 (改修後) S=1/100



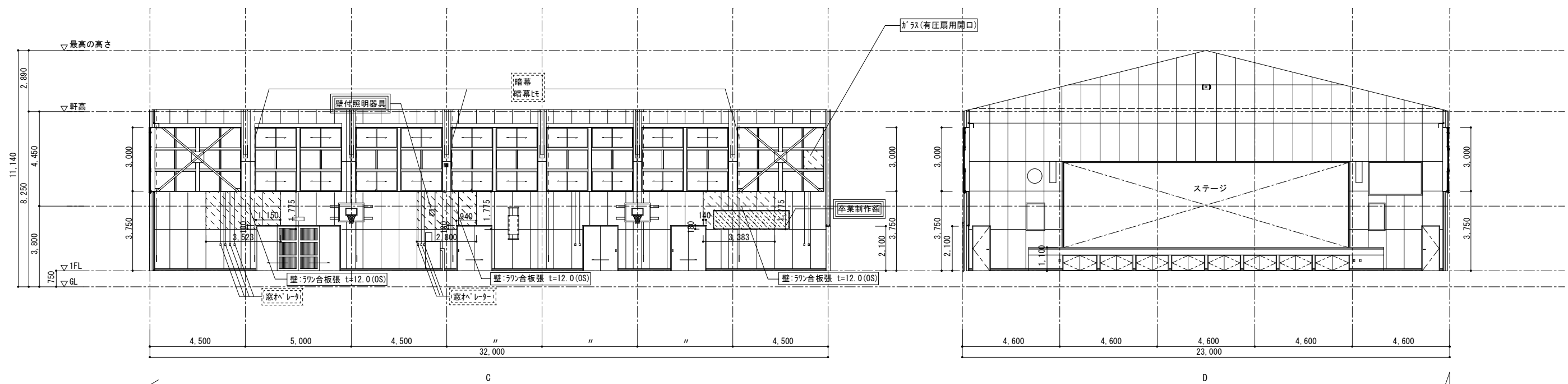
個室天井伏図 (改修後) S=1/100

枠なし	既存のまま
新規設置項目	撤去新設範囲を示す



A展開図(改修前) S=1/100

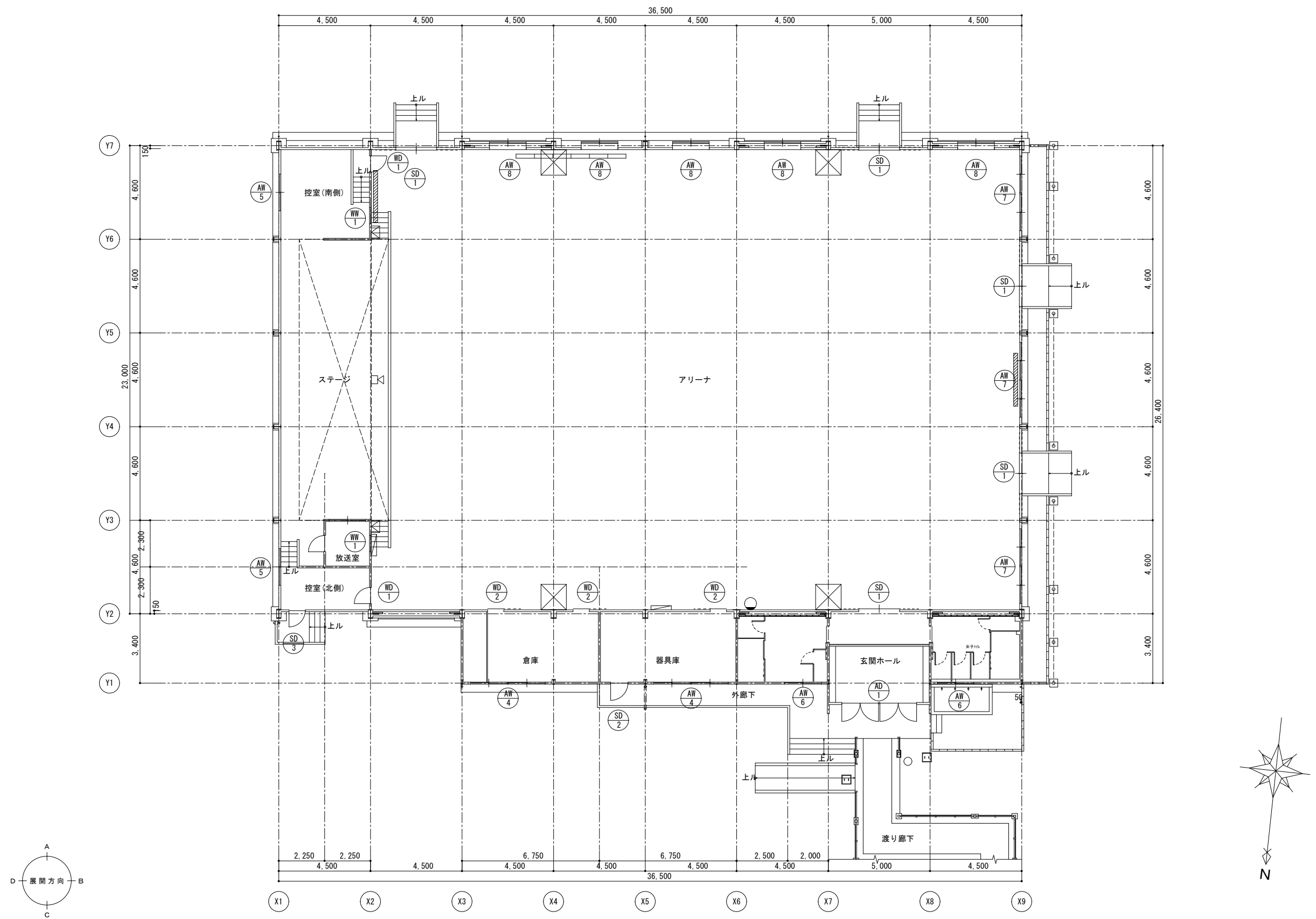
B展開図(改修前) S=1/100



C展開図(改修前) S=1/100

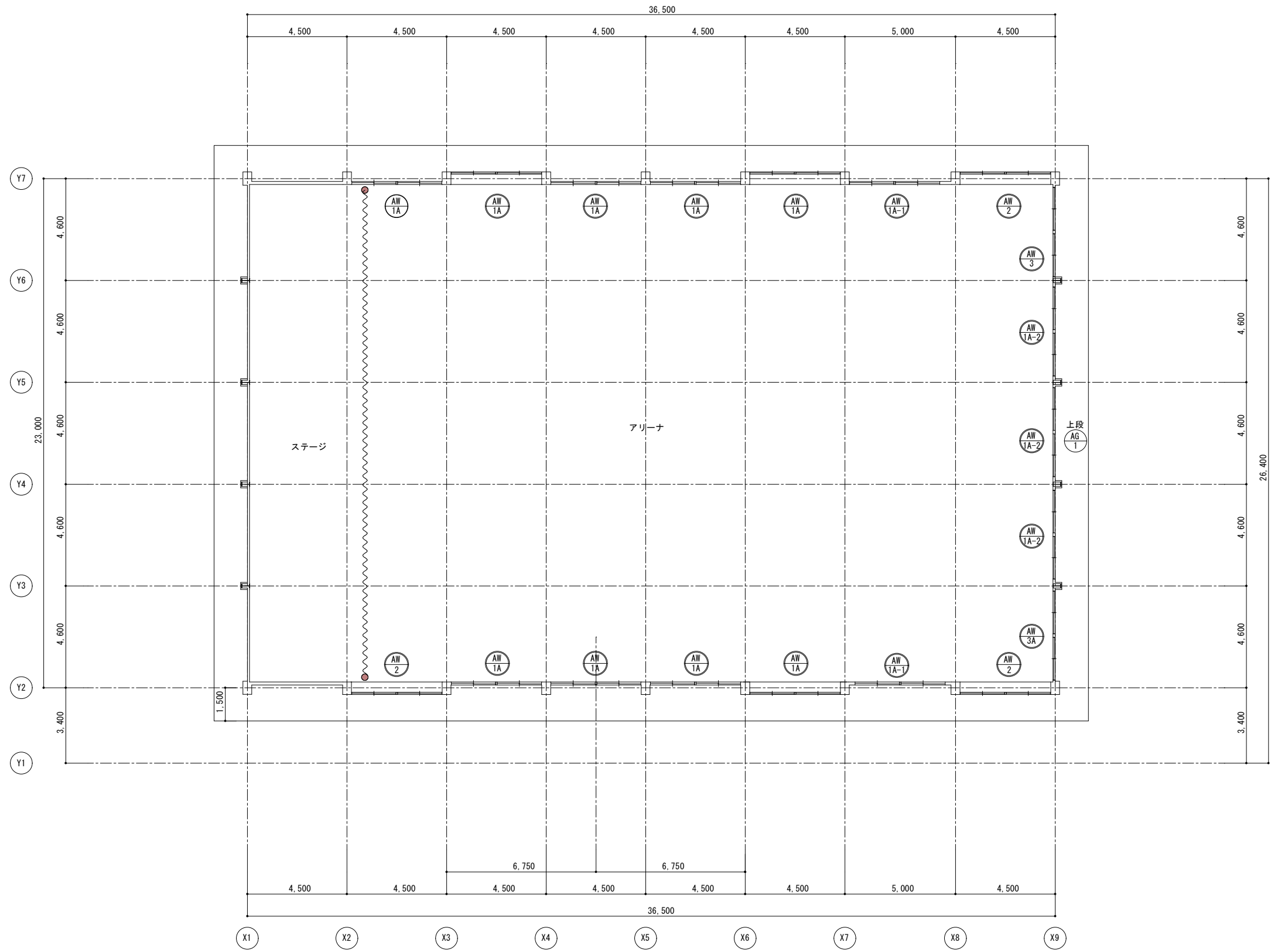
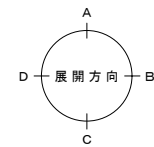
D展開図(改修前) S=1/100

枠なし	既存のまま
	既存撤去項目
	新規設置項目
	移設
	撤去・再取付設置項目
	撤去新設範囲を示す
	移設範囲を示す



1F建具キープランS=1/100

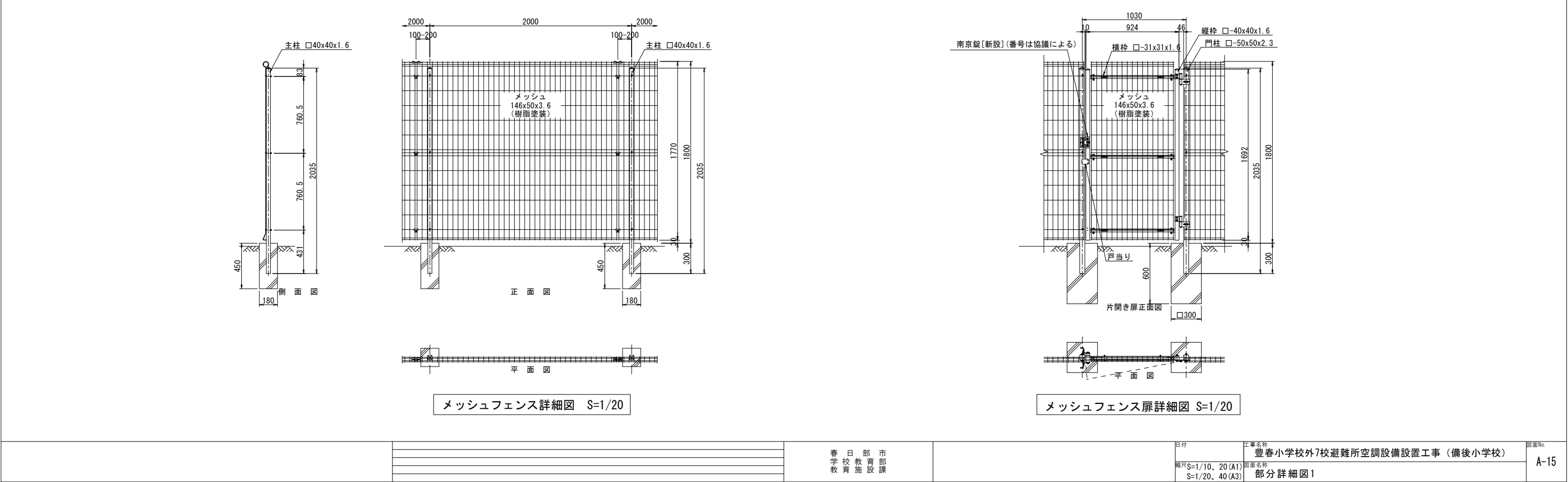
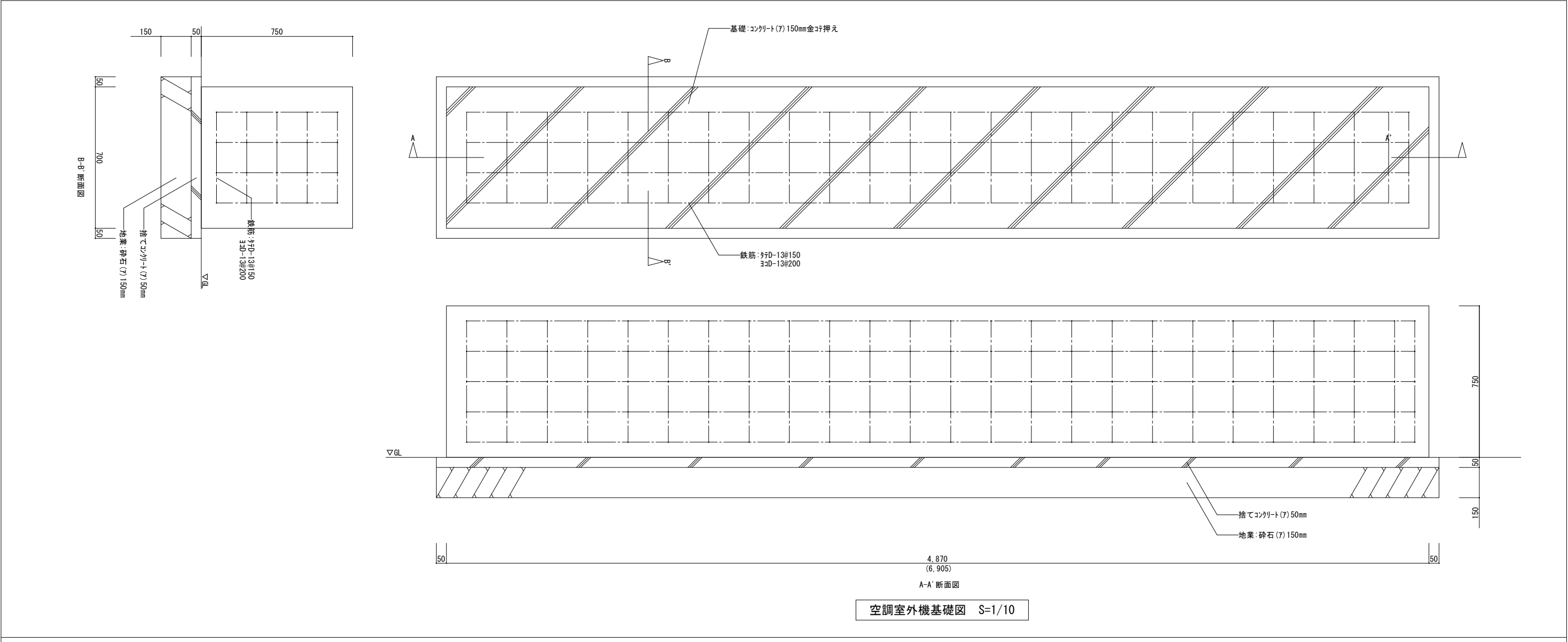
	既存建具を示す。
	改修建具を示す。

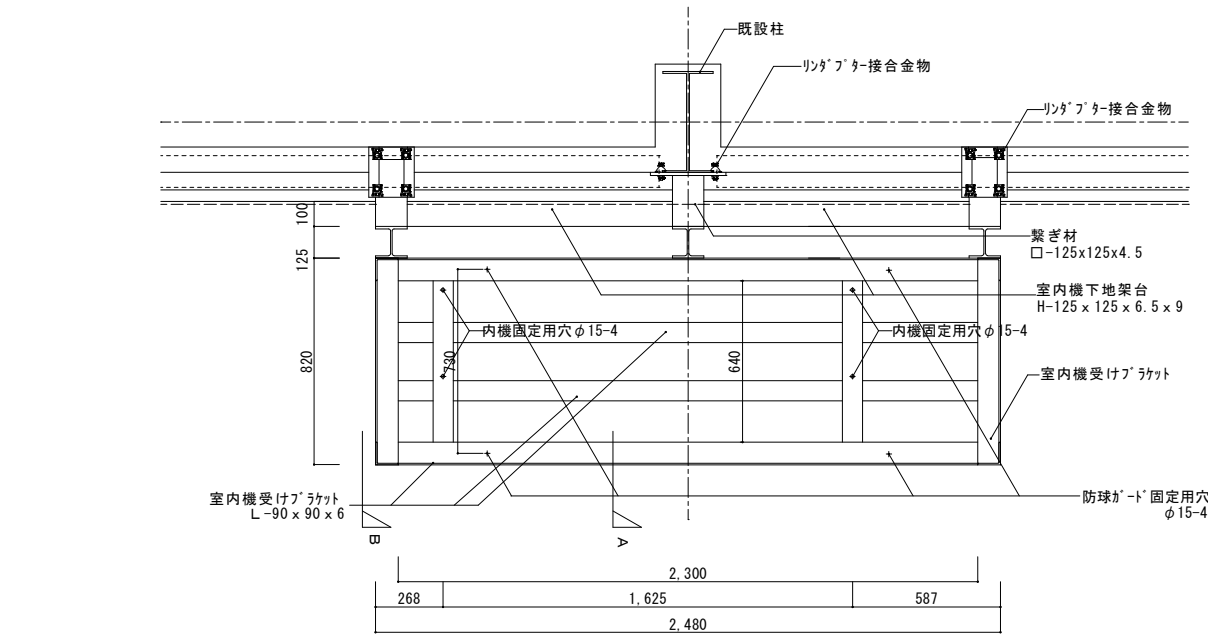


2F建具キープラン S=1/100

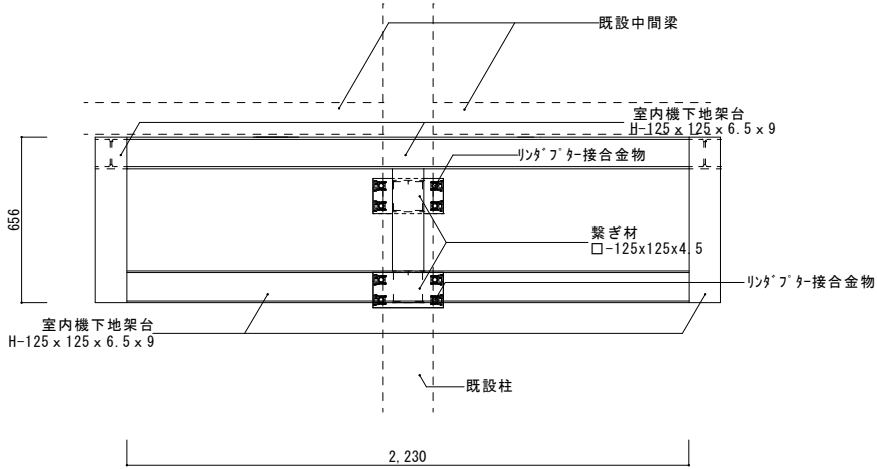
	既存建具を示す。
	改修建具を示す。

符号・使用場所 ・数量	AW1A AW1A-1 AW1A-2 体育館	14	AW2 体育館	3	AW3 AW3A 体育館	2	AW4 倉庫、器具庫	2	AW5 控室	2	AW6 男子便所、女子便所	2
形状												
型式・機種	7&ミサツ引違い 一部Fix		7&ミサツFix		7&ミサツ引違い 一部Fix		連窓引違7&ミサツ		引違7&ミサツ		引違7&ミサツ	
枠見込	70		70		70		70		70		80	
防火・防音仕様												
材質・仕様												
ガラス種類	強化ガラス4mm/m		強化ガラス4mm/m		強化ガラス4mm/m		強化ガラス4mm/m		7&ミ7&ミイト		7&ミ7&ミイト	
建具金物	クレント、付属金物一式、		クレント、付属金物一式		クレント、付属金物一式、開閉オペレーター		クレント、付属金物一式		付属金物一式、クレント		付属金物一式、クレント	
備考	木額縁、飛散防止フィルム(遮熱、UVカット性能付き)貼付け ガラス清掃共 開閉オペレーター		木額縁、飛散防止フィルム(遮熱、UVカット性能付き)貼付け ガラス清掃共 西側建具：一部ガラス撤去・有圧扇開口：7&ミ7&ミ【新設】 開閉オペレーター		木額縁、飛散防止フィルム(遮熱、UVカット性能付き)貼付け ガラス清掃共 開閉オペレーター		木額縁		木額縁		後付け網戸、ガラス飛散防止フィルム	
符号・使用場所 ・数量	AW7 体育館	3	AW8 体育館	5	WW1 控室	2	AG1 体育館	1				
形状												
型式・機種	連窓引違7&ミサツ		引違7&ミサツ		7&ミサツFix		7&ミガラリ					
枠見込	70		70		70							
防火・防音仕様												
材質・仕様												
ガラス種類	強化ガラス4mm/m		強化ガラス4mm/m		強化ガラス4mm/m							
建具金物	クレント、付属金物一式		クレント、付属金物一式									
備考	木額縁		木額縁		木額縁		木額縁					
符号・使用場所 ・数量	SD1 体育館	5	SD2 器具庫	1	SD3 控室	1	AD1 玄関	1	WD1 控室	2	WD2 倉庫、器具庫	3
形状												
型式・機種	スチールサツ引き分戸		スチールサツ片開き戸		スチールサツ片開き戸		7&ミ連窓両開きド7		木枠片開きド7		木枠引分けド7	
枠見込									40		40	
材質・仕様	スチール		スチール		スチール		7&ミ					
ガラス種類												
建具金物												
備考									木製3方枠 CL		木製3方枠 CL	
符号・使用場所 ・数量												
形状												
型式・機種												
枠見込												
材質・仕様												
ガラス種類												
建具金物												
備考												
												AW 既存建具を示す。 AW 改修建具を示す。 新設を示す 撤去・再取付を示す 撤去新設範囲を示す
						春日部市 学校教育部 教育施設課			日付 縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事（備後小学校） 図面名称 建具表	図面No. A-14	

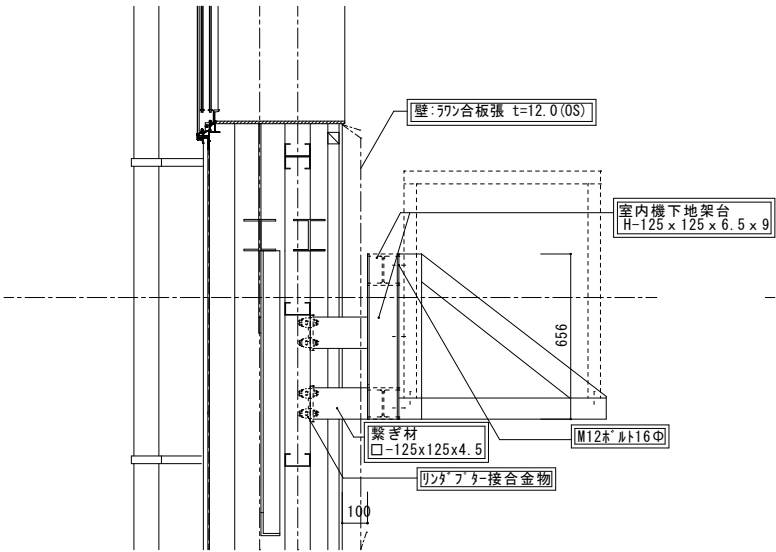




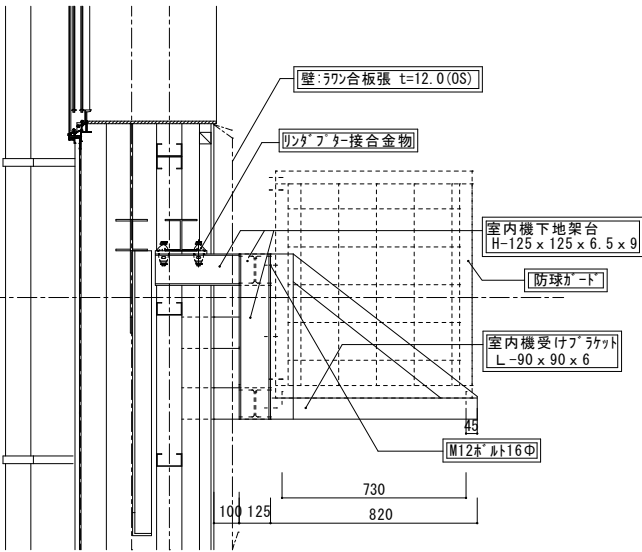
平面図 S=1/15



展開図S=1/15



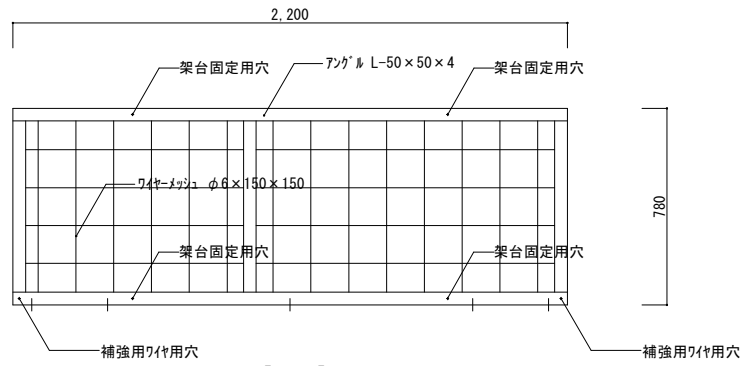
A断面図S=1/15



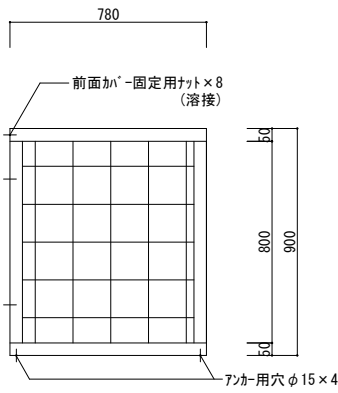
B断面図S=1/15

室内機下地架S=1/15

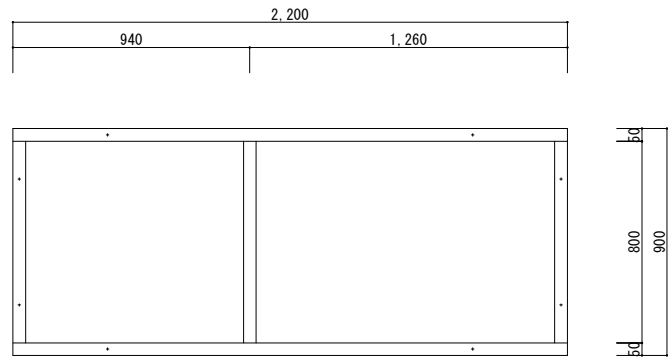
枠なし	既存のまま
	新規設置項目



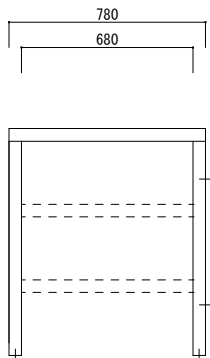
[上面]



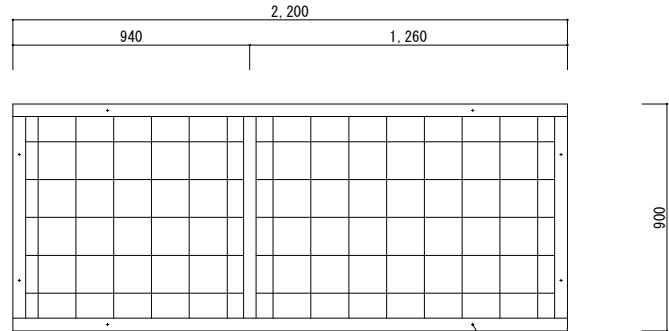
[左側面]



[正面]



[右側面]

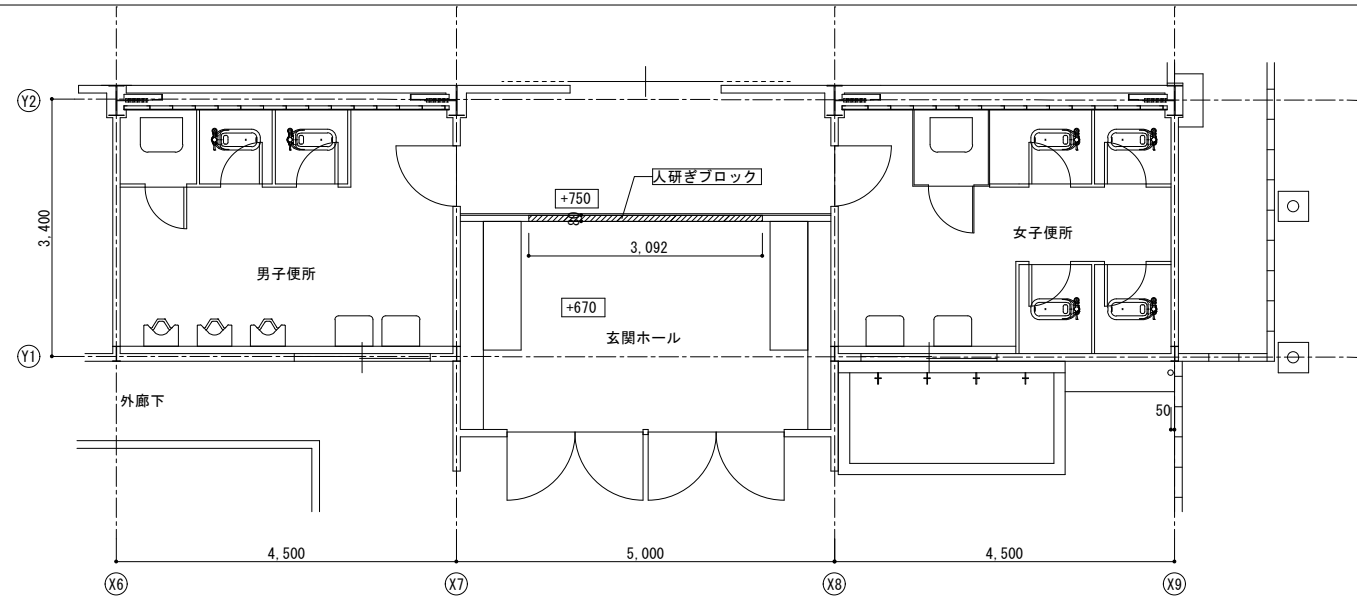


[前面カバー部]

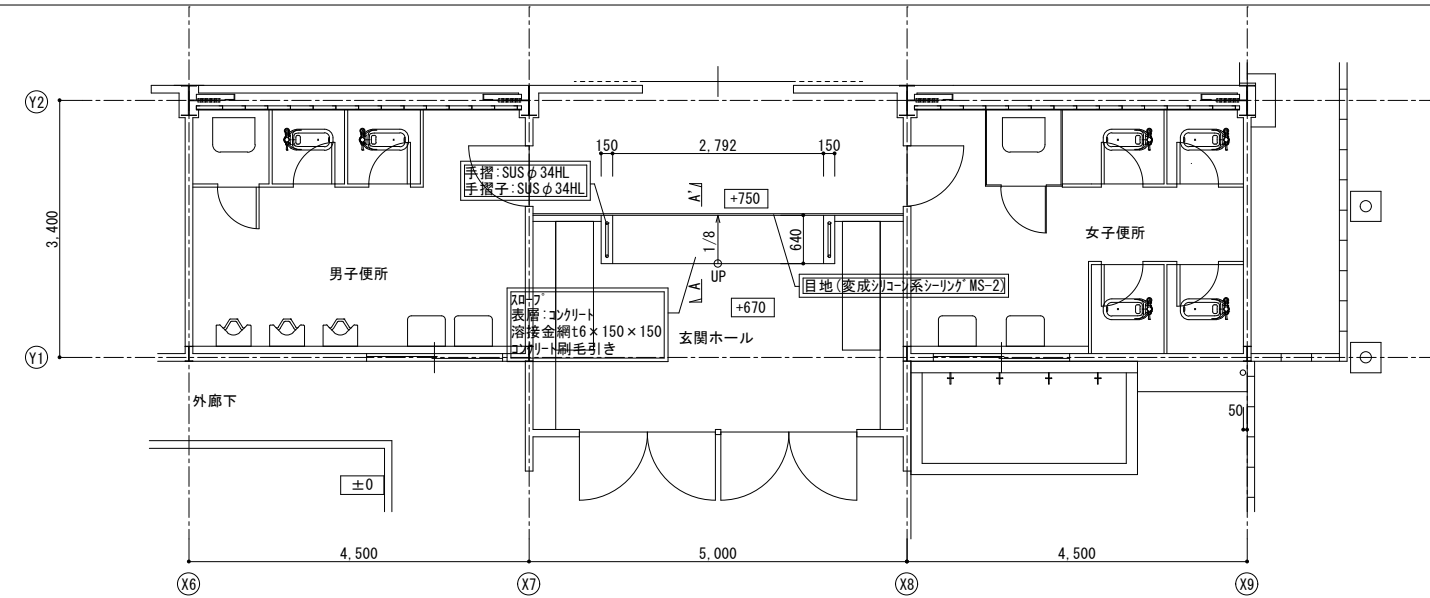
防球ガード S=1/15

※鋼材は、溶融亜鉛メッキ処理とする。

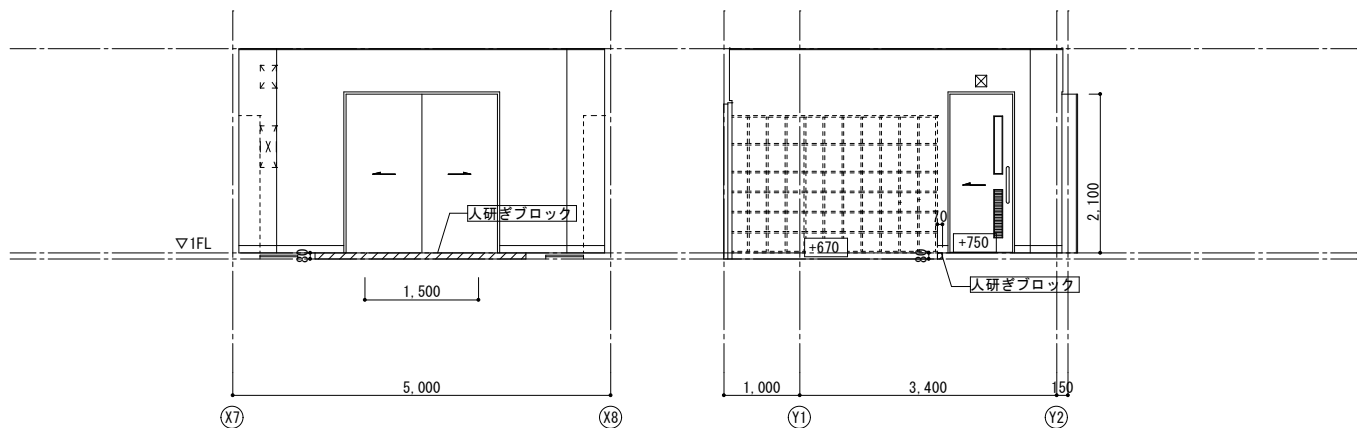
- 備考
- ・背面吸気フィルターの出し入れを工具不要で行えるようにすること。
 - ・室内機と架台の重量を接合部分が安全に支持出来ることを確認すること。
 - ・架台と躯体接合部分が安全に支持出来ることを確認すること。



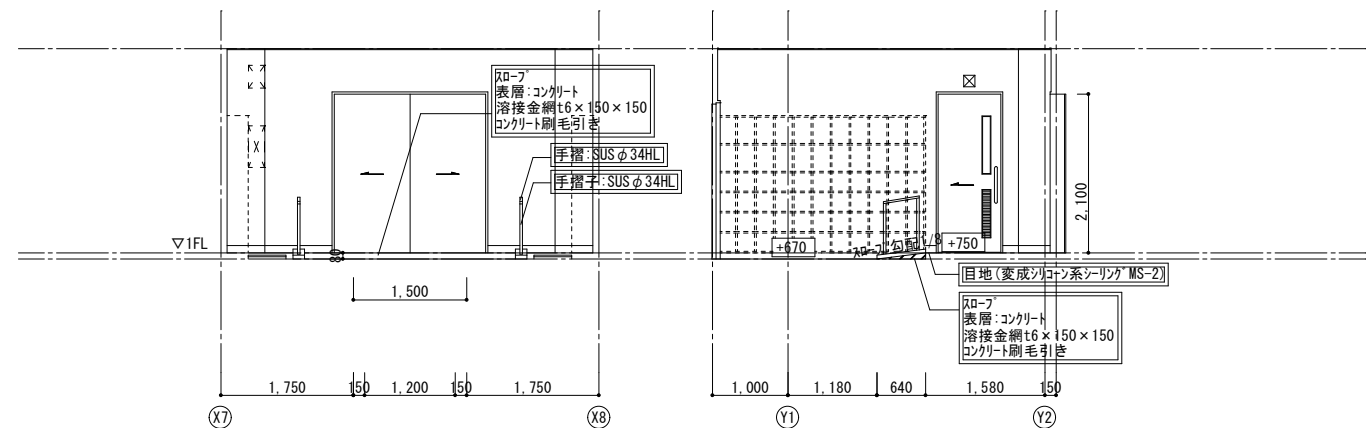
スロープ平面図 (改修前) S=1/50



スロープ平面図 (改修後) S=1/50

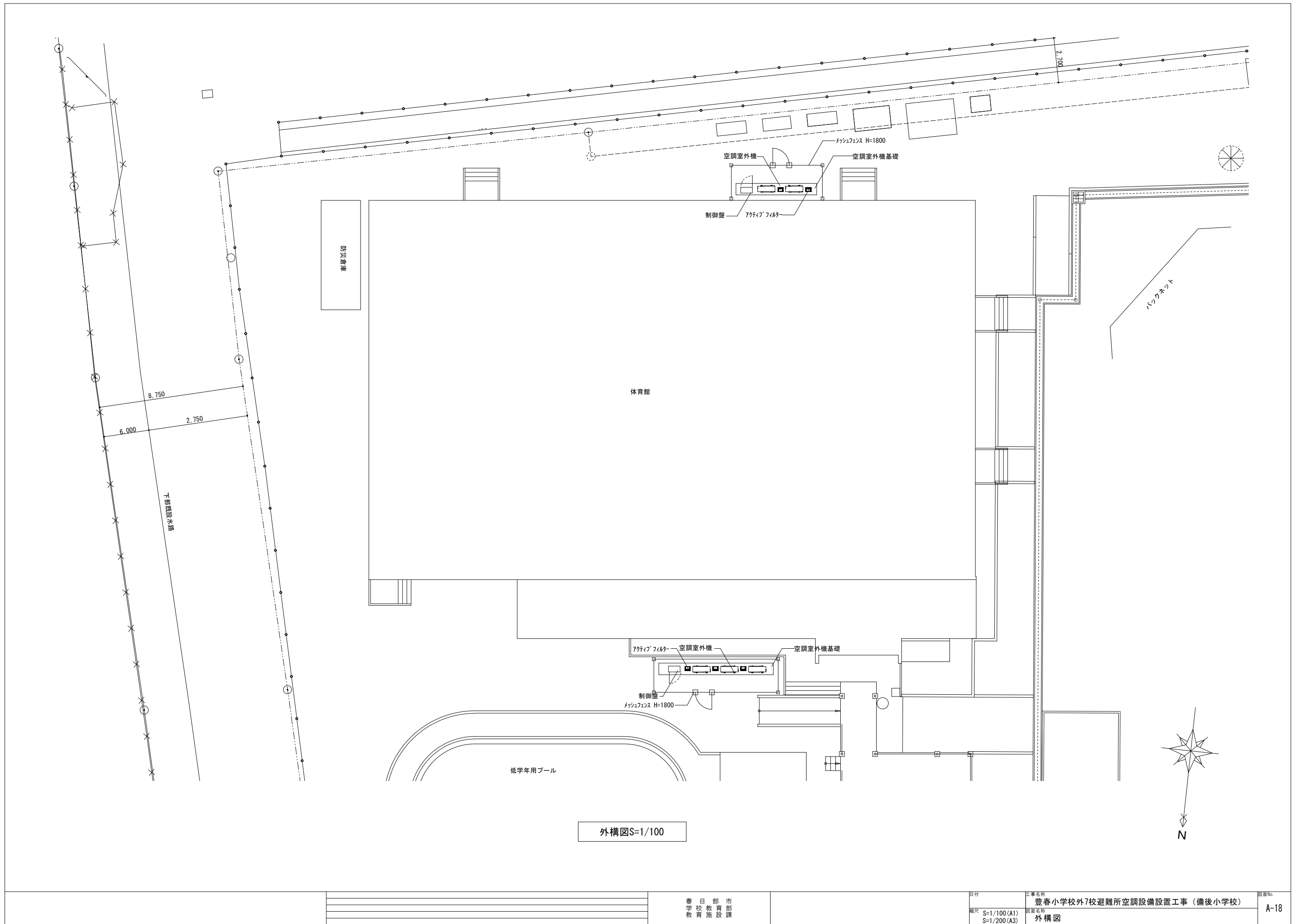


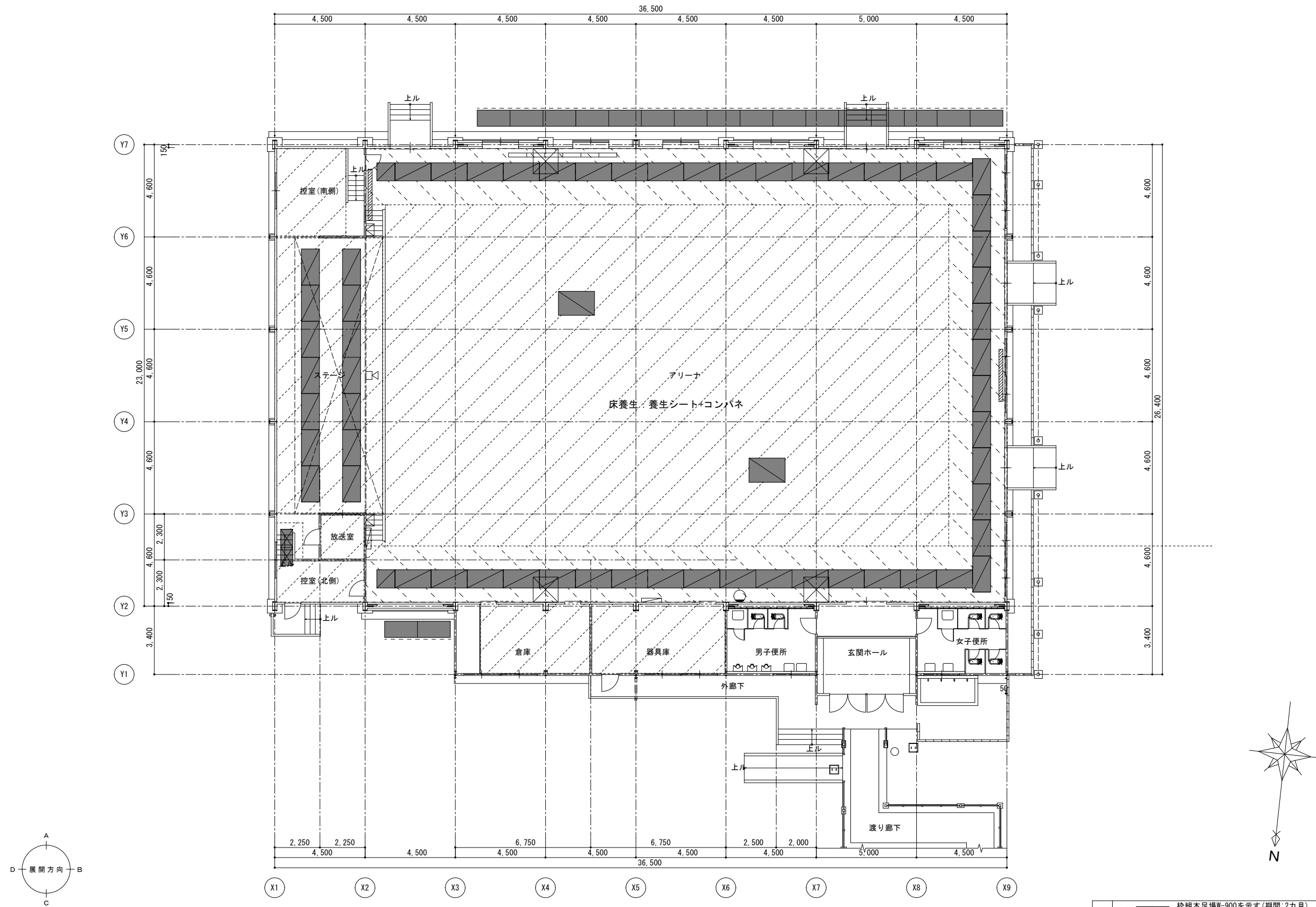
スロープ断面図 (改修前) S=1/50



スロープ A-A' 断面図 (改修後) S=1/50

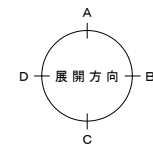
枠なし	既存のまま
	既存撤去項目
	新規設置項目





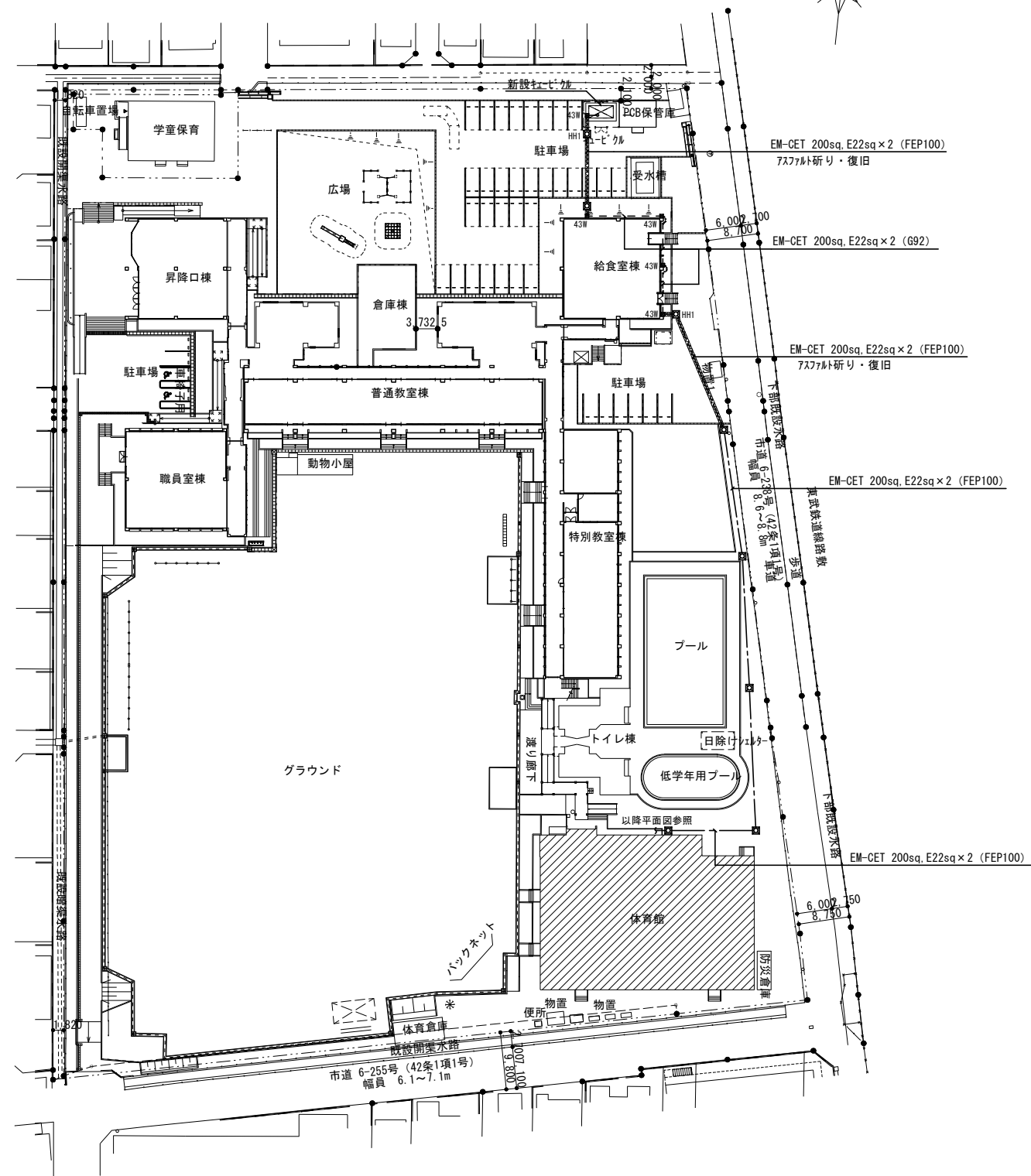
凡 例	外部	枠組本足場W-900を示す(期間:2カ月) (ネット状養生シート張り)
	内部	内部養生・清掃・枠組本足場W-900を示す(期間:2カ月)
	内部	内部養生・清掃・階段足場W-600を示す(期間:2カ月)
	内部	内部養生・清掃・ローリング'ツ-を示す(期間:2カ月)
	内部	空調設置用内部養生示す(期間:2カ月)
	内部	照明設置用内部養生示す(期間:2カ月)

内部仮設 S=1/100





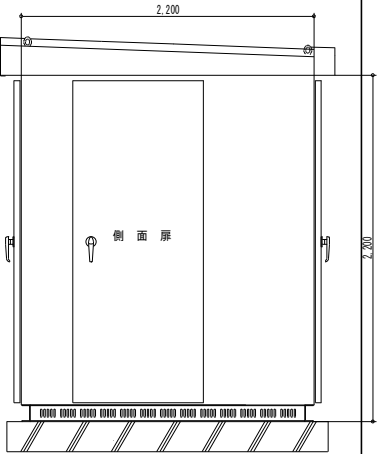
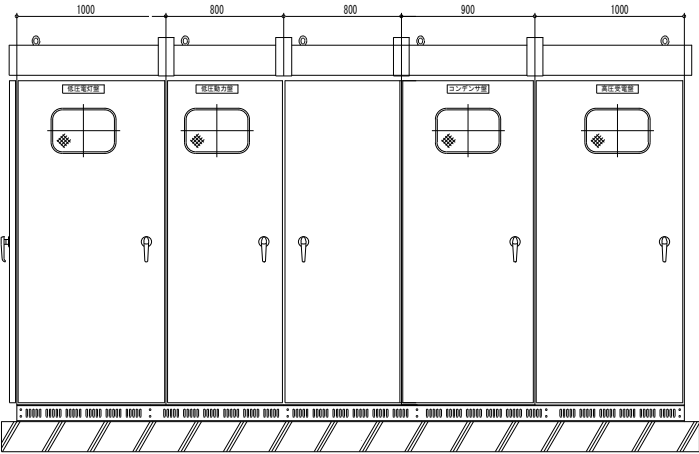
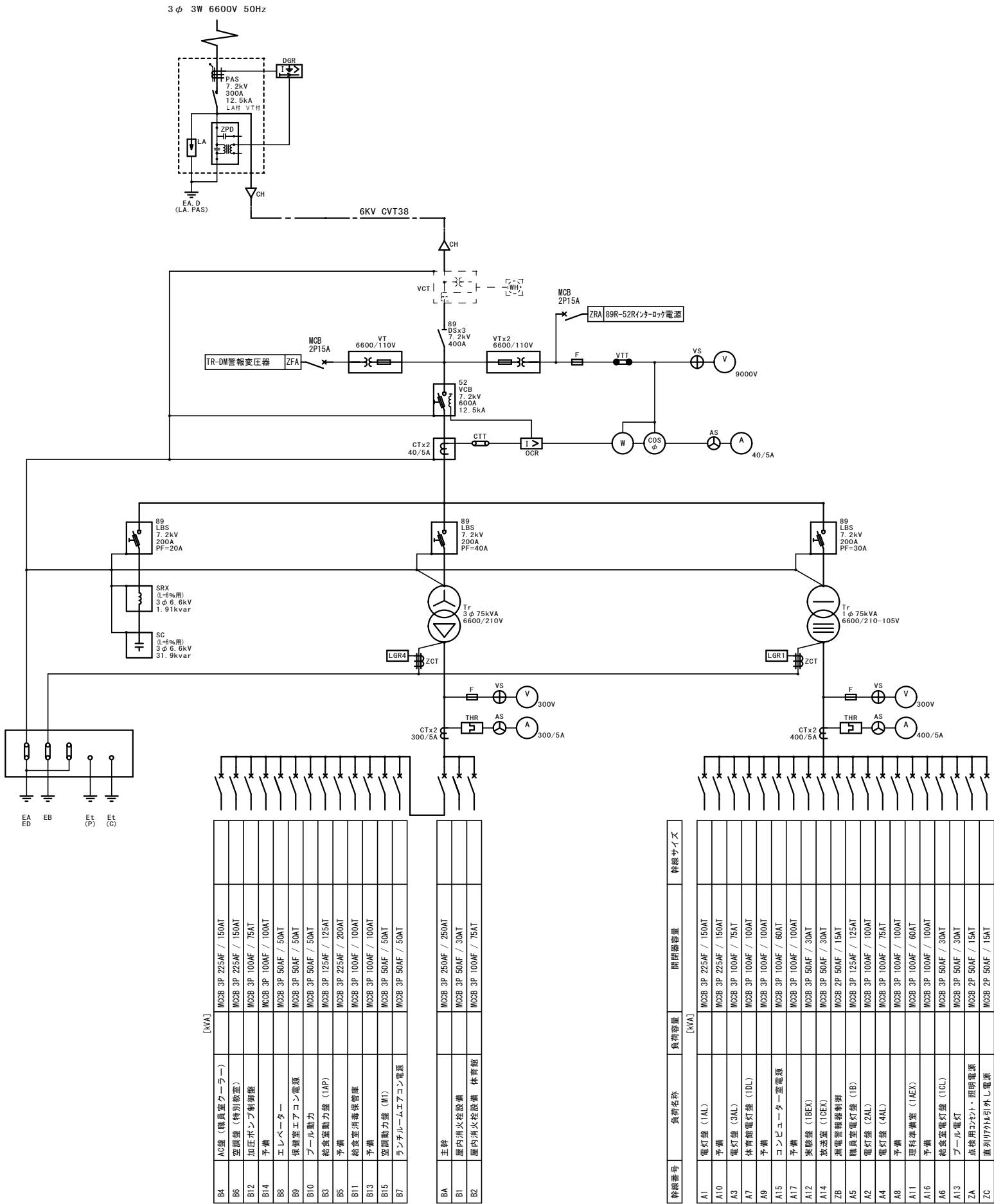
案内図



特記なき記号は下記による。			
■21	ﾌﾞﾙｯｸｽ	200×200×100	鋼板製
■32W	ﾌﾞﾙｯｸｽ	300×300×200	SUS製
■43W	ﾌﾞﾙｯｸｽ	400×400×300	SUS製
■	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	600×600×900	(中耐蓋)
■HH1	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ	600×600×900	(重耐蓋)

配置図

既存撤去

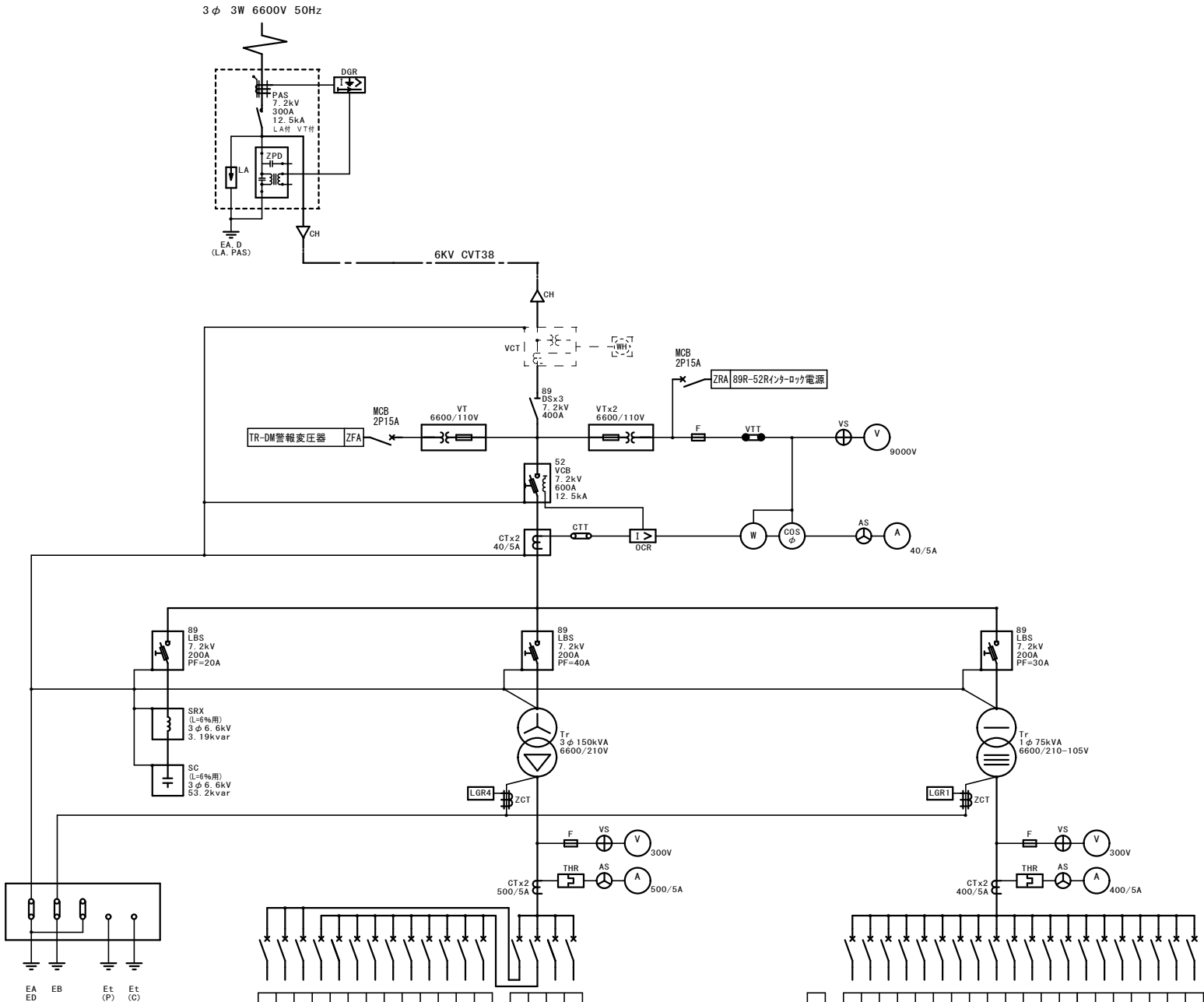


正面図

側面図

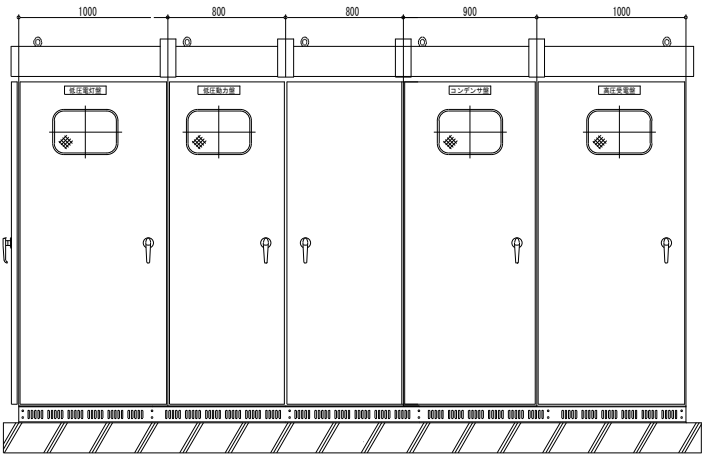
キュービクル姿図

凡 例		—特記なき記号は下記による。—	
記 号	名 称	記 号	名 称
CH	ケーブルヘッド	2 7	交流不足電圧継電器
PAS	高圧系中負荷開閉器	5 1 (OC R)	過電流継電器
LA	避雷器	6 7 (DGR)	地絡方向継電器
VCT	電力需給用計器用変成器	5 5 (APFC)	自動力率制御装置
Wh	電力需給用計量器	5 1 G	漏電リレー
DS	断路器	ZCT	零相変流器
VCB	真空遮断器	MCCB	配線用遮断器
VT	計器用変圧器	ELCB	漏電遮断器
CT	変流器	V	電圧計 (最大値残針付)
LBS	高圧交流負荷開閉器	A	電流計 (最大値残針付)
PF	潮流ヒューズ	W	電力計
VCS	高圧真空電磁接触器	c o s φ	力率計
T	変圧器 (油入アモルフラス仕様)	F	低圧ヒューズ
SR	直列リアクトル (油入)	TC	引外しコイル
SC	高圧進相コンデンサ (油入)		
【特記事項】			
・ VCB操作		： ■手動 □電動	・ トランス付属品
・ 付属品、予備品は下記のを納入する事。			ダイヤル温度計
電力ヒューズ		： 実装数	： ■有 □無
デイスコン棒		： 短 1 本	転倒防止用ストッパー
高低圧検電器		： 各 1 本	： ■有 □無
回路ヒューズ		： 実装数	防振ゴム
			： ■有 □無
			混熱防止板
			： □有 ■無

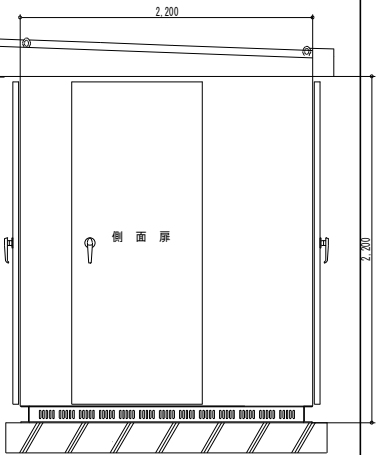


幹線番号	負荷名称	負荷容量	開閉器容量	幹線サイズ
B5	体育館空調機P-M (新設)	41.2	MCB 3φ 225A / 200AT	EN-CET200sq
B13	予備		MCB 3φ 100A / 100AT	
B14	予備		MCB 3φ 100A / 100AT	
B4	AC機 (職員室クーラー)		MCB 3φ 225A / 150AT	
B6	空調機 (特別教室)		MCB 3φ 225A / 150AT	
B12	加圧ポンプ制御盤		MCB 3φ 100A / 75AT	
B8	エレベーター		MCB 3φ 50A / 50AT	
B9	保健室エアコン電源		MCB 3φ 50A / 50AT	
B10	プール動力		MCB 3φ 50A / 50AT	
B3	給食室動力盤 (IAP)		MCB 3φ 125A / 125AT	
B11	給食室消費保管庫		MCB 3φ 100A / 100AT	
B15	空調動力盤 (H1)		MCB 3φ 50A / 50AT	
B7	ランチャームエアコン電源		MCB 3φ 50A / 50AT	
BA	主幹1		MCB 3φ 400A / 400AT	
B8	主幹2		MCB 3φ 400A / 400AT	
B1	屋内消火栓設備		MCB 3φ 50A / 30AT	
B2	屋内消火栓設備 体育館		MCB 3φ 100A / 75AT	

幹線番号	負荷名称	負荷容量	開閉器容量	幹線サイズ
A1	電灯盤 (1AL)		MCB 3φ 225A / 150AT	
A10	予備		MCB 3φ 225A / 150AT	
A3	電灯盤 (3AL)		MCB 3φ 100A / 75AT	
A7	体育館電灯盤 (1DL)		MCB 3φ 100A / 100AT	
A9	予備		MCB 3φ 100A / 100AT	
A15	コンピューター室電源		MCB 3φ 100A / 60AT	
A17	予備		MCB 3φ 100A / 100AT	
A12	実験室 (IBEX)		MCB 3φ 50A / 30AT	
A14	放送室 (ICEX)		MCB 3φ 50A / 15AT	
ZB	通風機制御		MCB 2φ 50A / 15AT	
A5	職員室電灯盤 (1B)		MCB 3φ 125A / 125AT	
A2	電灯盤 (2AL)		MCB 3φ 100A / 100AT	
A4	電灯盤 (4AL)		MCB 3φ 100A / 75AT	
A8	予備		MCB 3φ 100A / 100AT	
A11	理科準備室 (1AEX)		MCB 3φ 100A / 60AT	
A16	予備		MCB 3φ 100A / 100AT	
A6	給食室電灯盤 (1GL)		MCB 3φ 50A / 30AT	
A13	プール電灯		MCB 3φ 50A / 30AT	
ZA	本館用コヤシ・照明電源		MCB 2φ 50A / 15AT	
ZC	直列7F1F引外し電源		MCB 2φ 50A / 15AT	



正面図



側面図

キュービクル姿図

凡 例			
ー特記なき記号は下記による。ー			
記 号	名 称	記 号	名 称
CH	ケーブルヘッド	27	交流不足電圧継電器
PAS	高圧気中負荷開閉器	51(OCR)	過電流継電器
LA	避雷器	67(DGR)	地絡方向継電器
VCT	電力需給用計器用変成器	55(APFC)	自動力率制御装置
Wh	電力需給用計量器	51G	漏電リレー
DS	断路器	ZCT	零相変流器
VCB	真空遮断器	MCCB	配線用遮断器
VT	計器用変圧器	ELCB	漏電遮断器
CT	変流器	V	電圧計 (最大値機針付)
LBS	高圧交流負荷開閉器	A	電流計 (最大値機針付)
PF	限流ヒューズ	W	電力計 (最大値機針付)
VCS	高圧真空電磁接点器	cosφ	力率計
T	変圧器 (油入アモルファス仕様)	F	低圧ヒューズ
SR	直列リアクトル (油入)	TC	引外しコイル
SC	高圧進相コンデンサ (油入)		

- 【特記事項】
- ・VCB操作 : ☒手動 ☐電動

・付属品、予備品は下記のものを納入する事。

電力ヒューズ : 実装数

ディスコン棒 : 短1本

高低圧接電器 : 各1本

回路ヒューズ : 実装数

・トランス付属品

ダイヤル温度計 : ☒有 ☐無

転倒防止用ストッパー : ☒有 ☐無

防振ゴム : ☒有 ☐無

混触防止板 : ☐有 ☒無

- 【注記】
1. キュービクル基礎は既存利用とする。

2. キュービクルには蛍光灯 (事故数分) 換気扇 (サーモ発停) を設ける事とする。

3. キュービクルチャンネルベースは溶融亜鉛メッキとする。

4. 予備として電力ヒューズ類を100%納入とする。

5. ABC10型消火器用収納箱 (防水・SUS製) 及び同消火器を納入とする。

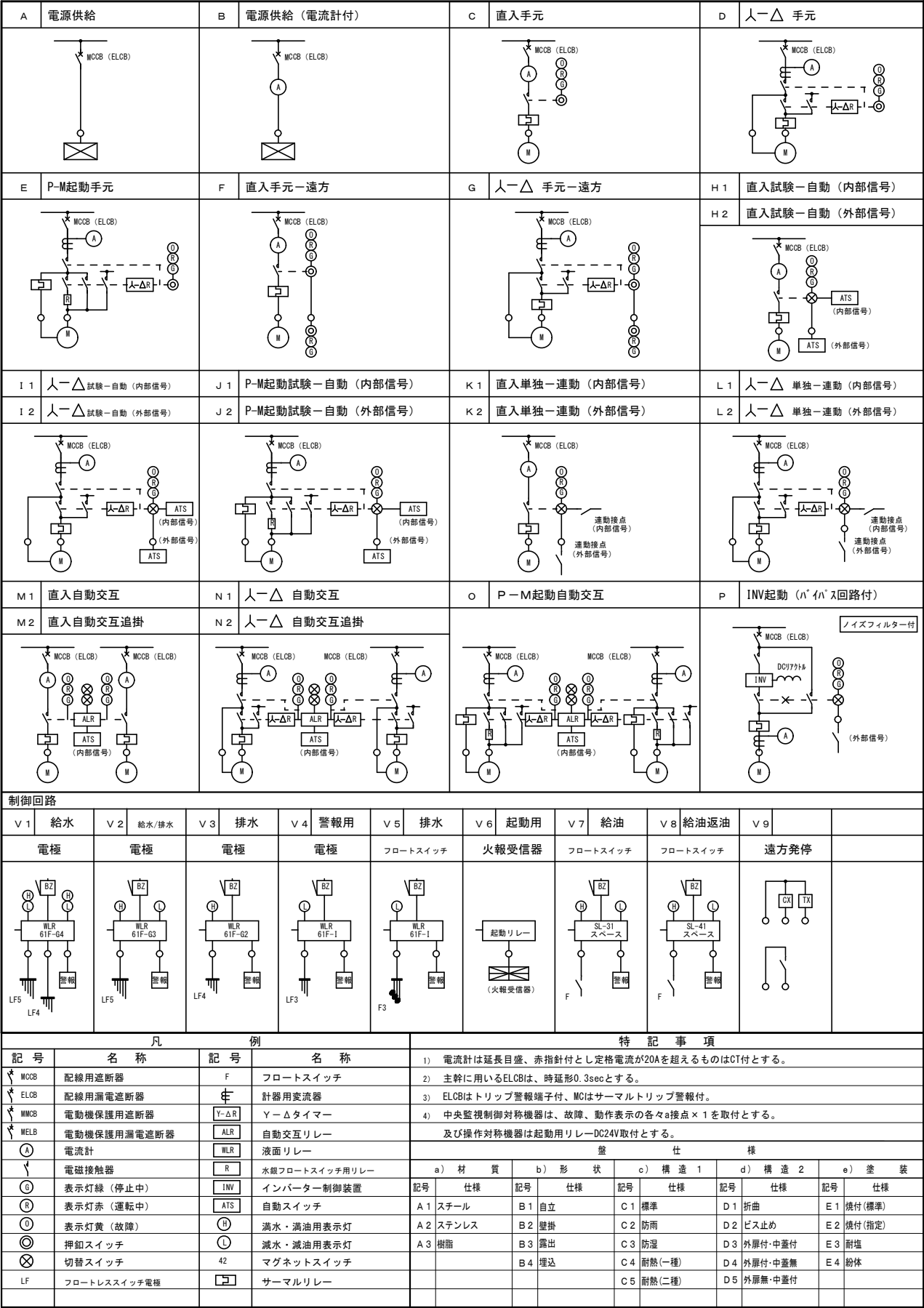
6. トランスは油入トップランナー変圧器とする。

7. 上記図面は参考とする。

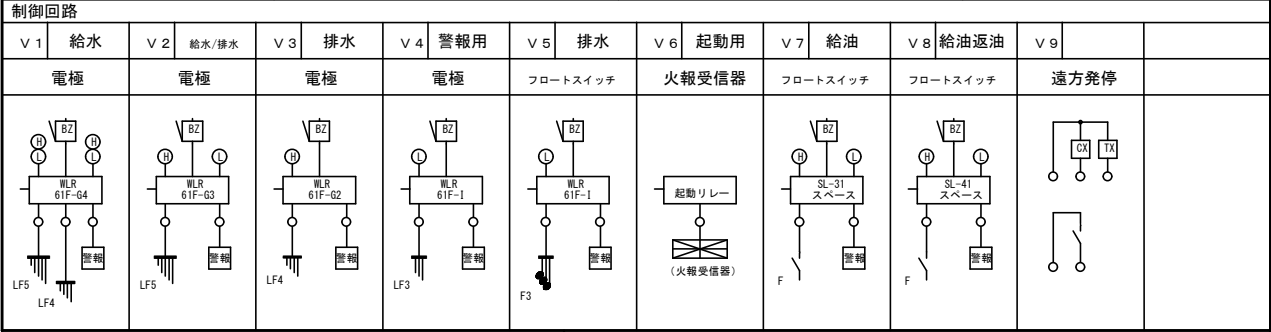
8. 表示ランプは全てLEDを使用すること。

9. JISC4620準拠品とする。

10. キュービクルは消防庁が火災予防上支障がないと認める構造を有するものとする。
(消防庁告示第7号基準に則って設置する)

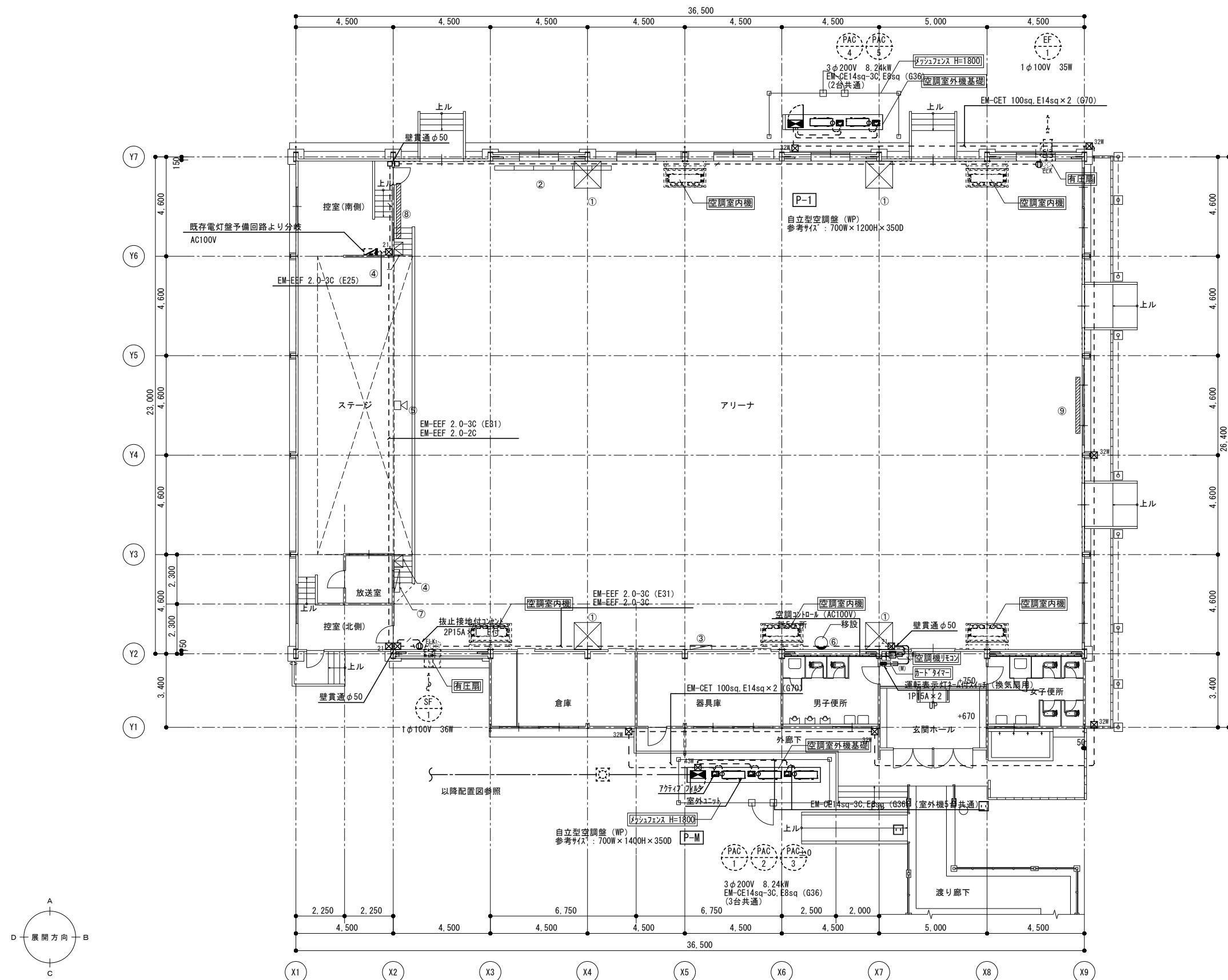


図名 仕様 幹線番号 幹線サイズ	電気方式 主 幹	機器記号	負 荷 名 称	負荷 容量 [KW]	開閉器容量 AF/AT	接続方式		現 場 盤					計 量 盤					運動	インター ロック	配線仕様	備 考
						主 幹 路	制 御 回 路	操 作		表 示		操 作		表 示		計 測					
								発 停	自 動	過 熱	故 障	発 停	空 白	状 態	故 障						
P-M a) B 1 b) B 3 c) C 2 d) D 3 e) E 1 CVT200sq E 22sq×2	AC-GC 3φ3W200V 発電機用TB×1 MCDT 3P200A ×1 MCCB 3P 225/200A [SPD] (CLASS 1) 合計容量 計 41.2 [KW] 参考値' : 700W×1400H×350D	P-1	動力制御盤	16.48	MCCB 3P 100/ 100	A													EM-CET100sq, E14sq×2	(G70)	
		PAC-1	空冷ヒートポンプ装置	8.24	ELCB 3P 50 / 50	A														EM-CE14sq-3C, E8sq	(G36)
		PAC-2	空冷ヒートポンプ装置	8.24	ELCB 3P 50 / 50	A														EM-CE14sq-3C, E8sq	(G36)
		PAC-3	空冷ヒートポンプ装置	8.24	ELCB 3P 50 / 50	A														EM-CE14sq-3C, E8sq	(G36)
P-1 a) B 1 b) B 3 c) C 2 d) D 3 e) E 1 CVT100sq E 14sq×2	AC 3φ3W200V MCCB 3P 100/100A [SPD] (CLASS 1) 合計容量 計 16.48 [KW] 参考値' : 700W×1200H×350D	PAC-4	空冷ヒートポンプ装置	8.24	ELCB 3P 50 / 50	A													EM-CE14sq-3C, E8sq	(G36)	
		PAC-5	空冷ヒートポンプ装置	8.24	ELCB 3P 50 / 50	A														EM-CE14sq-3C, E8sq	(G36)



凡 例		特 記 事 項	
記 号	名 称	記 号	名 称
MCCB	配線用遮断器	F	フロートスイッチ
ELCB	配線用漏電遮断器	計	計器用変流器
MNCCB	電動機保護用遮断器	Y-Δ	Y-Δタイマー
MELB	電動機保護用漏電遮断器	ALR	自動交互リレー
A	電流計	WL	液面リレー
電磁接触器	R	水銀フロートスイッチ用リレー	
表示灯緑 (停止中)	INV	インバーター制御装置	
表示灯赤 (運転中)	ATS	自動スイッチ	
表示灯黄 (故障)	滴	滴水・漏油用表示灯	
押釦スイッチ	42	減水・減油用表示灯	
切替スイッチ	42	マグネットスイッチ	
LF	フロートスイッチ電極	サ	サマルリレー

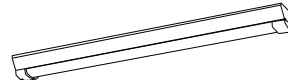
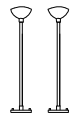
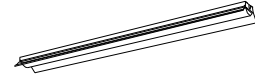
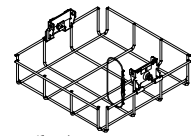
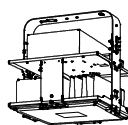
仕 様									
a) 材 質		b) 形 状		c) 構 造 1		d) 構 造 2		e) 塗 装	
記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
A 1	スチール	B 1	自立	C 1	標準	D 1	折曲	E 1	焼付(標準)
A 2	ステンレス	B 2	壁掛	C 2	防雨	D 2	止ぶスめ	E 2	焼付(指定)
A 3	樹脂	B 3	露出	C 3	防湿	D 3	外扉付・中蓋付	E 3	耐塩
		B 4	埋込	C 4	耐熱(一種)	D 4	外扉付・中蓋無	E 4	粉体
				C 5	耐熱(二種)	D 5	外扉無・中蓋付		



1・2階平面図S=1/100

- 【凡例】
- (W) — EM-EEF 2.0-3C (MM-A) 新設
 - - - EM-EEF 2.0-3C (E25) 新設

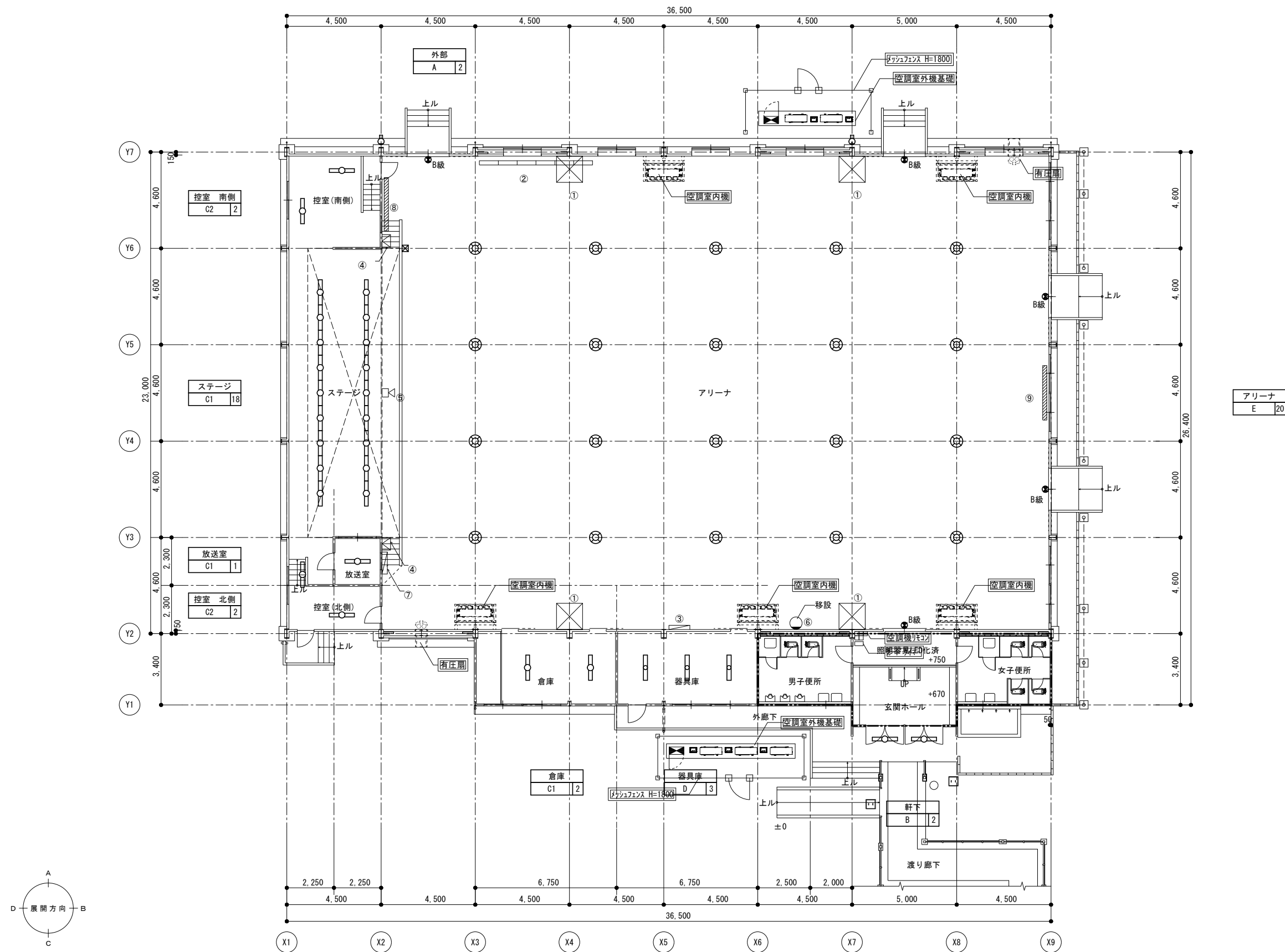
【新設 照明器具姿図】

A	LEDウォールライト 20形	B	直付形40形 Dスタイル 防雨型 W150	C1	直付型40形 反射笠付型
 LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束990lm、消費電力10W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23 公共施設型番 LBF3MP/RP-2-06LE9 (参考)パナソニック NNFW21800LE9		 一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16、3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板（クロムフリー・高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋アクリルコーティング 光源寿命40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 (参考)パナソニック XLW422AENZLE9		 一般タイプ、2000lmタイプ 消費電力13、1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 (参考)パナソニック XLX410KENPLE9	
C2	直付型40形 反射笠付型	D	直付型40形 反射笠付型	E	高天井用照明器具 水銀灯700形器具相当
 パイプ吊具 ワン型500mmタイプ ホワイテ 許容質量（重電）30、0kg（2本） パイプ径：φ16 一般タイプ、2000lmタイプ 消費電力13、1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 (参考)パナソニック XLX410KENPLE9 XFP500WW（ツリゲ）		 一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 (参考)パナソニック XLX440KENULE9		 下面ガード フレーム：鋼材（亜鉛メッキ仕上） 光束25000lm、消費電力135W、電圧200～242V 昼白色、5000K、Ra70、広角タイプ、直付型 光源寿命60000時間（光束維持率85%）、電源内蔵型 本体：アルミ、パネル：ポリカーボネート（透明）、アーム：亜鉛鋼板 約5～100%連続調光、落下防止ワイヤー付 器具本体（2、5kg） (参考)パナソニック NYM20223LR2 NYK00116（ガード）	
B級	LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型	F			
 ガード付 FK02561Z LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：IAM111－3209 公共施設型番 SH1-FBF20-BL (参考)パナソニック FA20312CLE1+FK20300					

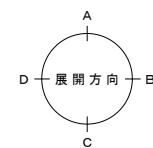
【撤去リスト】

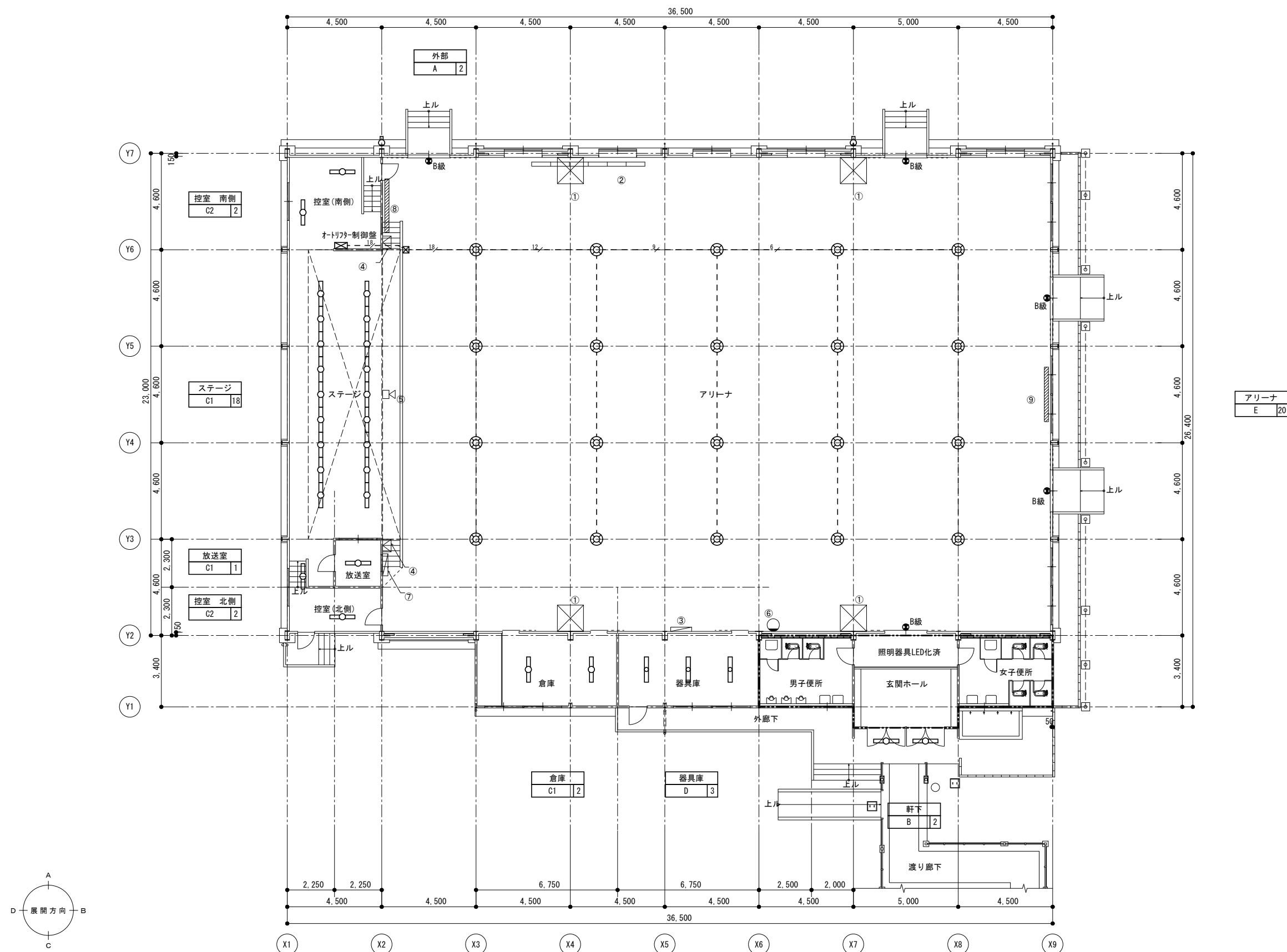
記号	名 称	台数	備考
A	ウォールライト F L 2 0 W × 1	2	撤去
B	逆富士型 防湿型 F L 4 0 W × 1	2	撤去
C 1	反射笠付型 F L 4 0 W × 1	2 1	撤去
C 2	反射笠付型 パイプ吊り F L 4 0 W × 1	4	撤去
D	反射笠付型 F L 4 0 W × 2	3	撤去
E	水銀灯 H F 4 0 0 W	2 0	撤去
B級	避難口誘導灯（ガード付） F L 1 0 W × 1	5	撤去

注：消費電力は JIS C 8105-3 による。



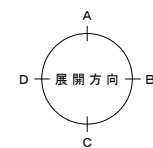
1・2階平面図S=1/100





1・2階平面図S=1/100

- 【凡例】
- IV 2.0×3 (配管残置)
 - 6 2.0×6 (配管残置)
 - 8 2.0×9 (配管残置)
 - 12 2.0×12 (配管残置)
 - 18 2.0×18 (配管残置)

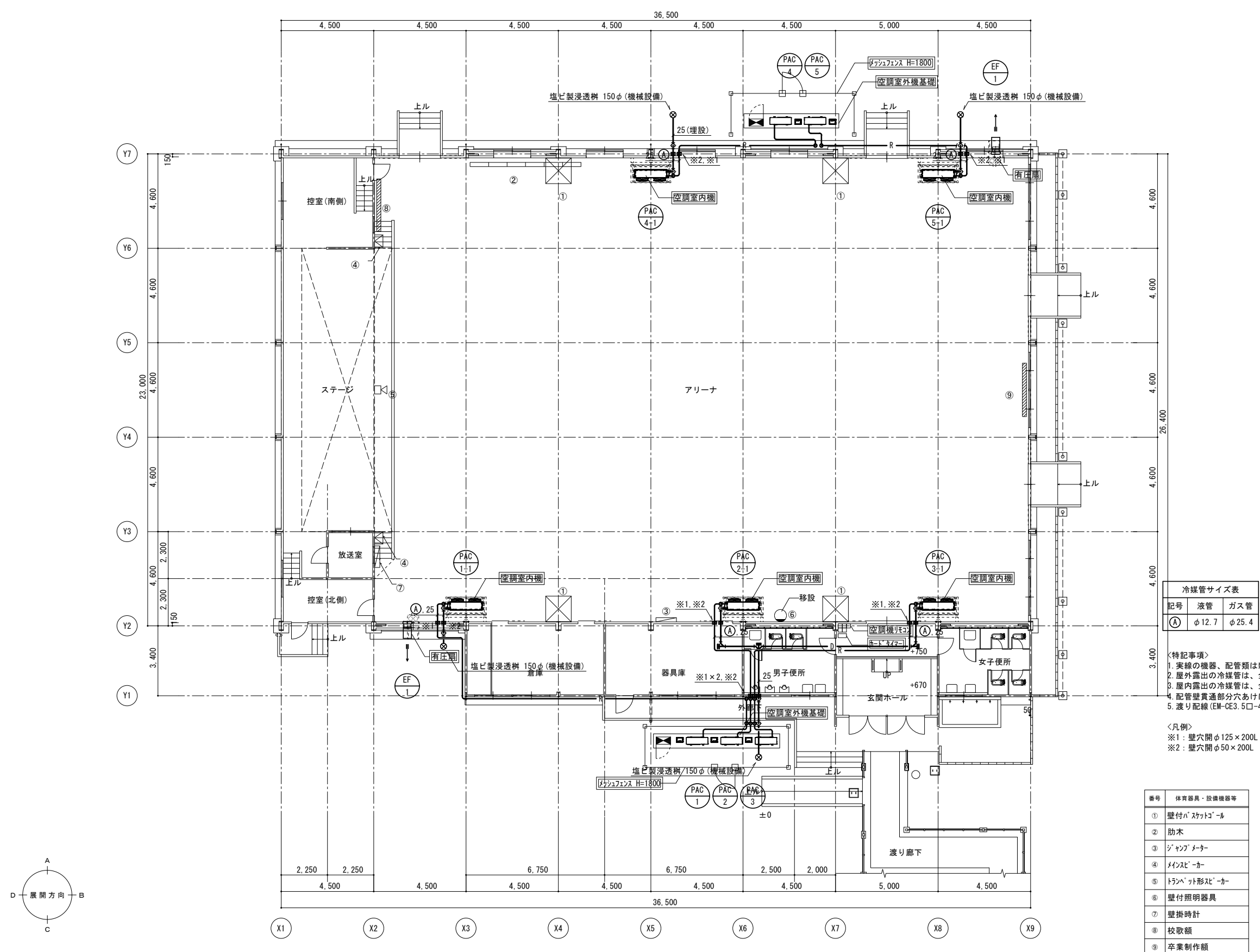


空調機器表

[illegible]

換氣機器表

[illegible]



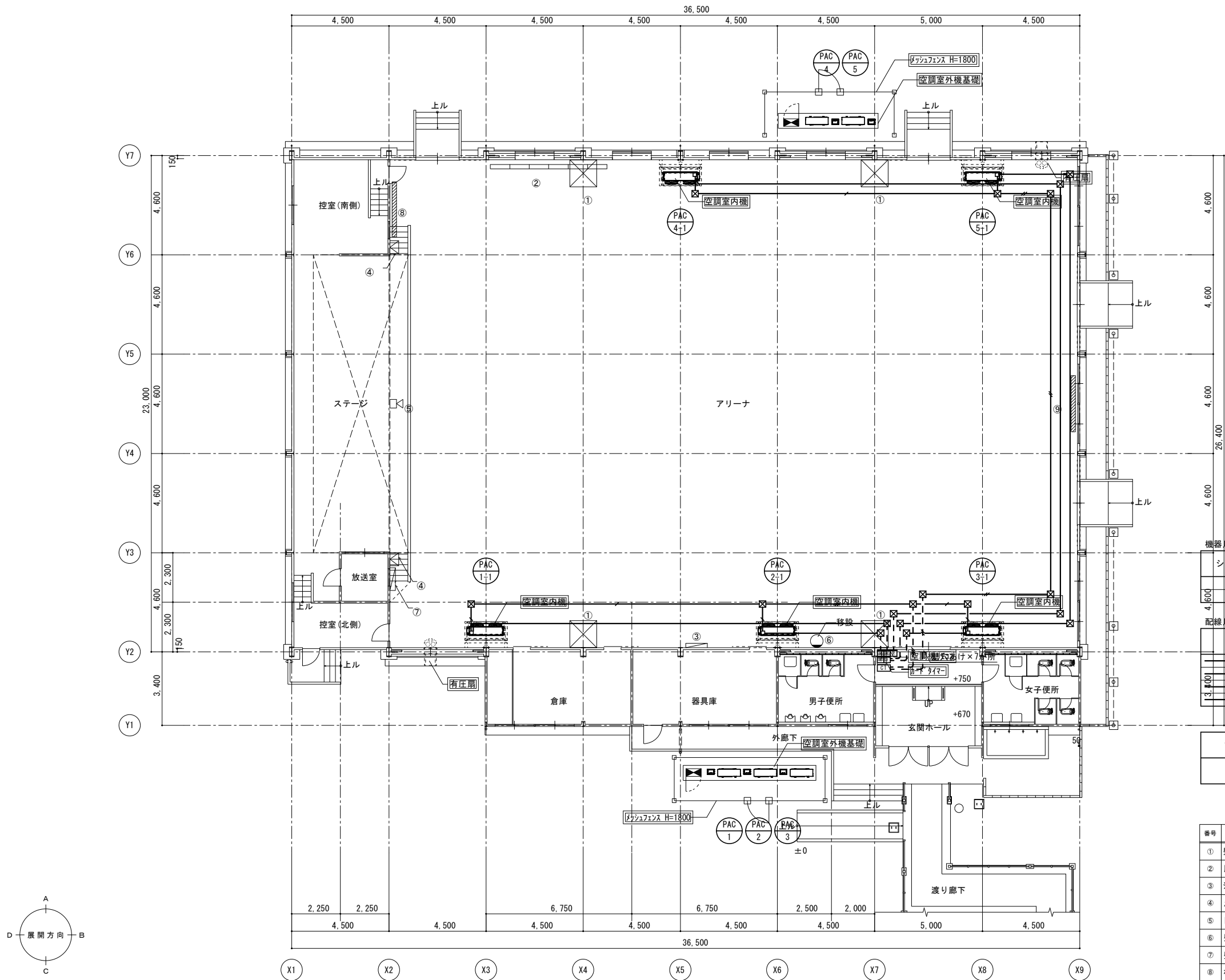
冷媒管サイズ表		
記号	液管	ガス管
Ⓐ	φ12.7	φ25.4

＜特記事項＞
1. 実線の機器、配管類は新設とする。
2. 屋外露出の冷媒管は、全てガルバリウム銅板ラッキングにて施工とする。
3. 屋内露出の冷媒管は、全て銅板製スリムダクト相当品にて施工とする。
4. 配管壁貫通部分穴あけは設備工事とする。
5. 渡り配線 (EM-CE3.5□-4C) は、本工事とする。(冷媒管共巻き)

＜凡例＞
※1：壁穴開φ125×200L
※2：壁穴開φ50×200L

番号	体育器具・設備機器等
①	壁付ﾊﾞｽｹｯﾄｺｰﾙ
②	肋木
③	ｼﾞｬﾝﾌﾟﾏｰｸ
④	ｲﾝｽﾋﾞｰｶｰ
⑤	ﾄﾗﾝﾍﾞｯﾄ形ｽﾋﾞｰｶｰ
⑥	壁付照明器具
⑦	壁掛時計
⑧	校歌額
⑨	卒業制作額

1・2階平面図S=1/100



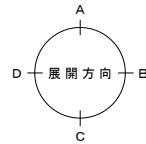
機器凡例			
シンボル	名称	配線	配管
□	空調機リモコン	EM-CEES1.25□-2C	立下り
□	カードタイマー	EM-CE2.0□-2C × 1	MMB

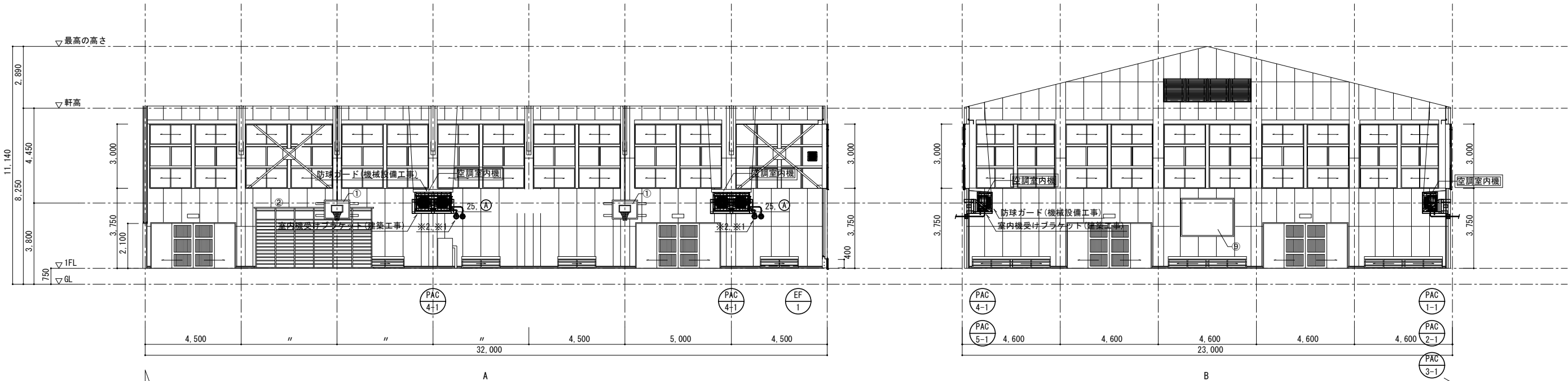
配線凡例			
	配線	配管	備考
—	EM-CEES1.25□-2C	G22 コロガシ	PACリモコン
—	EM-CE2.0□-2C × 1	G22 コロガシ	カードタイマー配線
—	EM-CE2.0□-2C × 2	G28 コロガシ	カードタイマー配線
—	EM-CE2.0□-2C × 3	G36 コロガシ	カードタイマー配線

記号	名称・仕様
☒	プルボックス 150×150×100 を示す。 尚、SS形 塗装あり とする。

番号	体育器具・設備機器等
①	壁付バスケットゴール
②	肋木
③	ジャンプメーター
④	メインスピーカー
⑤	ドラムセット形スピーカー
⑥	壁付照明器具
⑦	壁掛時計
⑧	校歌額
⑨	卒業制作額

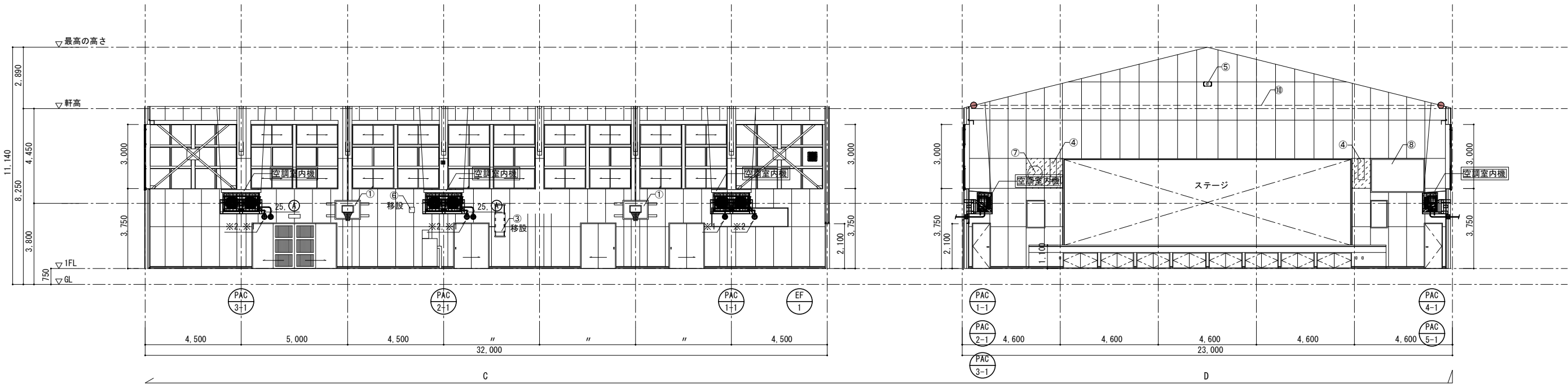
1・2階平面図S=1/100





A展開図 S=1/100

B展開図 S=1/100



C展開図 S=1/100

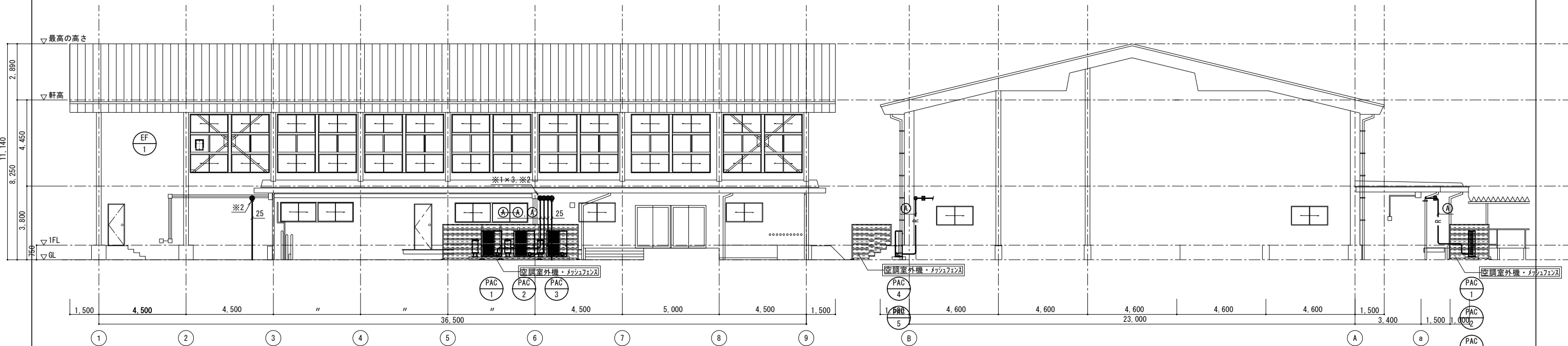
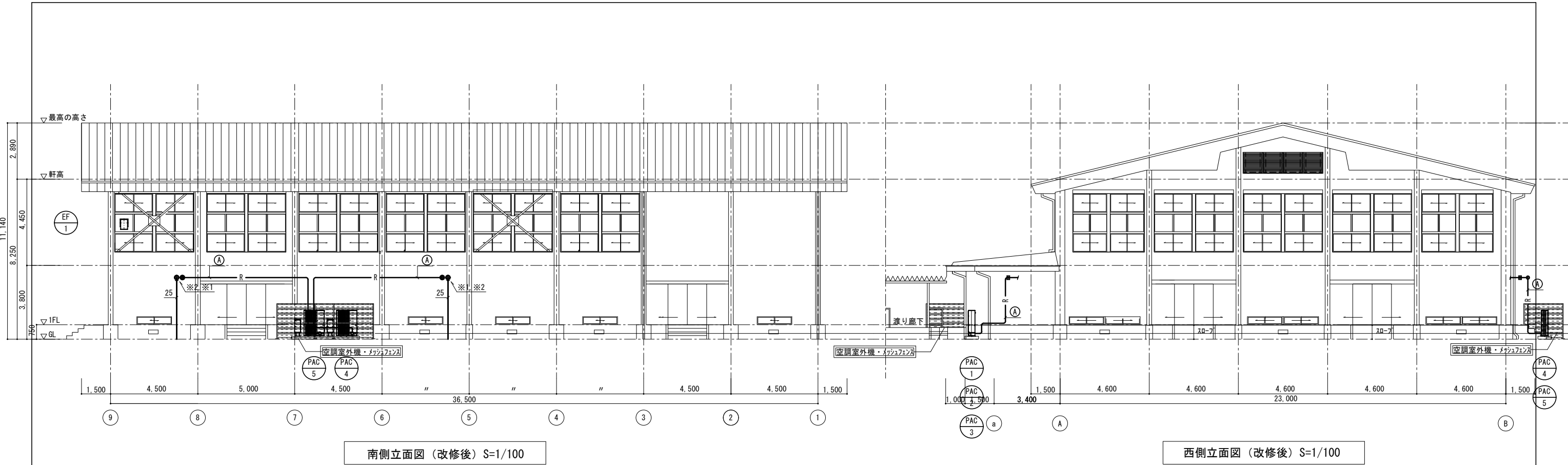
D展開図 S=1/100

落下防止対策工事対象物	
番号	体育器具・設備機器等
①	壁付バスケットゴール (固定式)
②	助木
③	ジャンプメーター
④	メインスピーカー
⑤	トランペット形スピーカー
⑥	壁付照明器具
⑦	壁掛時計
⑧	校歌額
⑨	卒業制作額
⑩	防球ネット (ステージ前)

冷媒管サイズ表		
記号	液管	ガス管
①	φ12.7	φ25.4

＜特記事項＞
1. 実線の機器、配管類は新設とする。
2. 屋外露出の冷媒管は、全てガルバリウム鋼板ラッキングにて施工とする。
3. 屋内露出の冷媒管は、全て銅板製スリムダクト相当品にて施工とする。
4. 配管壁貫通部分穴あけは設備工事とする。
5. 渡り配線 (EM-CE3.5□-4C) は、本工事とする。(冷媒管共巻き)

＜凡例＞
※1：壁穴開φ125×200L
※2：壁穴開φ50×200L



冷媒管サイズ表		
記号	液管	ガス管
Ⓐ	φ12.7	φ25.4

- ＜特記事項＞
1. 実線の機器、配管類は新設とする。
 2. 屋外露出の冷媒管は、全てガルバリウム鋼板ラッキングにて施工とする。
 3. 屋内露出の冷媒管は、全て銅板製スリムダクト相当品にて施工とする。
 4. 配管壁貫通部分穴あけは設備工事とする。
 5. 渡り配線 (EM-CE3.5□-4C) は、本工事とする。(冷媒管共巻き)

＜凡例＞

※1：壁穴開φ125×200L

※2：壁穴開φ50×200L